平成28年度

事　業　結　果　報　告　書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

Ⅰ　はじめに　　　　　…………………………………………………………… 1

Ⅱ　実施事業

１．社協運営及び機能強化　 　　 2

 1-(1) 法人運営管理　 　　 2

① 理事会

② 評議員会

　 ③ 監査会

　 ④ 正副会長会

 ⑤ 社会福祉法人制度改革検討委員会

　 ⑥ 基金・積立金運用検討委員会

　 ⑦ 役職員研修会

　 ⑧ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

⑨ 八市社協会

⑩ 松江市社会福祉法人連絡会

1-(2) 広報　 　11

① 社協だより・刊行物等の発行

　 ② ホームページ

 1-(3) 社協会費、募金等　　　 11

　 ① 社協会費

　 ② 日赤社費

　 ③ 共同募金

 1-(4) 研修啓発、講座　　 13

　 ① 松江市社会福祉大会

　 ② 健康福祉フェスティバル

 ③ 第68回松江市民余芸大会

　④ 地域ケア連携推進フォーラム

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進　　 　15

1-(6) 共同募金配分事業の取り組み　　 　15

２．地域福祉及び連絡調整の強化 　　 17

2-(1) 地域福祉の推進　　  17

　① 地区社協・各種団体との連携

② 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

③ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

　 ④ 福祉推進員代表者会

 ⑤ 福祉推進員研修会

　 ⑥ あったかスクラム事業の支援

 2-(2) 緊急事案への対応　　　23

2-(3) 広域福祉事業の推進 　 23

　 ① 福祉サービス利用援助事業の推進

　 ② 法人成年後見事業

　 ③ 市民後見人等養成事業

　 ④ 権利擁護推進委員会

３．ボランティア活動及び福祉教育 　　 27

 3-(1) コーディネート強化、見直し 　  27

 3-(2) ボランティアの育成、養成 　　 28

 　① 育成研修

　 ② 養成研修

　 ③ ボランティア登録時研修

　 ④ ボランティア活動基礎研修

 3-(3) ボランティアの活動支援 　  31

 ① ボランティアルームの解放及び備品の貸し出し及び保険加入の促進

　② 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

 ③ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携活動支援

3-(4) 福祉教育の推進 　 32

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化 　 32

４．在宅生活支援事業の推進　 　　 33

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み 　33

① 地域包括支援センター事業の推進

　■重点事業　■生活支援コーディネーター設置事業

② 認知症地域支援推進事業

4-(2) 支援策研究開発会議  42

4-(3) 社協内相談事業連絡会議  43

4-(4) 各種貸付・相談  44

　 ① 生活福祉資金の貸付

　 ② 民生融金の貸付

4-(5) 福祉サービス 　　45

　 ① 福祉サービスの充実及び企画・実施

　 ② 介護職員初任者研修の実施

５．公的福祉サービス受託事業の推進　 　　 48

5-(1) なごやか寄り合い事業　　　48

5-(2) まつえ障がい者サポートステーション絆の運営事業　　 50

5-(3) 生活困窮者自立支援（松江市くらし相談支援センター）　 51

 ① 自立相談支援事業

　② 一時生活支援事業

　③ 住居確保給付金

 ④ 家計相談支援事業

　⑤ 就労準備支援事業

　⑥ 入居債務保証制度

　⑦ フードバンク事業

　⑧ ひとり一品運動

　⑨ 助っ人弁護士制度

６．介護保険関係事業の推進　 　　 　　　　 53

 6-(1) 松江社協介護センターの経営  53

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

 6-(2) 美保関介護センターの経営 　54

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

　 ③ 通所介護事業及び介護予防通所介護事業

 6-(3) 松南介護センターの経営  56

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

 6-(4) 宍道介護センターの経営 　　57

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

 6-(5) 介護センターの研修等の推進  59

① 介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

② 訪問介護員内部研修

③ 居宅介護支援介護支援専門員内部研修

④その他介護職員関係研修への参加

 6-(6)介護認定訪問調査事業の受託  60

７．障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進　 　　 62

 7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業　 62

　 ① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

　 ② 美保関障がい者居宅介護事業

　 ③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

　 ④ 宍道障がい者居宅介護事業

８．児童福祉サービスの推進　 　 　　66

 8-(1) 児童センター等の受託運営  66

　 ① 八雲児童センター運営事業

　 ② 八雲児童・子育て事業

8-(2) 子ども食堂の取り組み　 67

９．福祉施設等管理運営事業の受託 67

 9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業  67

 9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業  68

9-(3) 東出雲老人福祉センター管理運営事業  68

9-(4) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業　 68

9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業　 69

10．災害支援　　　 　70

10-(1) 熊本地震災害支援派遣　 70

Ⅲ．組織・機構

　※平成29年4月1日付正規職員採用の方針について　　71

　※職員数一覧表　 72

　※松江市社会福祉協議会組織機構図

Ⅰ　はじめに

少子高齢・人口減少社会が進展するなか、家族規模・構成や働き方の変容等により、家庭、地域社会、企業等の相互扶助機能が弱体化してきています。市内でも社会的孤立の状況が顕著となり、貧困、虐待、ホームレス、ニート等既存の社会保障・社会福祉制度では解決に至らない複雑かつ深刻な生活課題、福祉ニーズを抱える人が増えています。

社会福祉協議会は、こうした市民の生活実態を把握し、住民の皆さんをはじめ、町内会自治会、公民館、地区社会福祉協議会、民生児童委員、ボランティア団体等と連携し、福祉課題・生活課題の解決に向けた支援や仕組みづくりの取り組みを行いました。

平成28年度は、「第４次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の実現に向け、(1)人づくり地域づくりを推進する。(2)福祉サービスが利用しやすい環境整備を行う。(3)安心して住み続けられるまちづくりを目指す。(4)生活課題を解決する。の4つの基本目標と21の進めるべき方策に基づき各種事業を積極的に展開し、地域福祉の推進に努めました。

地域福祉の推進では、ＣＳＷ（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｸ）広報事業や出張相談事業等実施し新たな生活課題の発見や解決に向けた取り組みを行いました。また、福祉ボランティアポイント事業実施に向け、松江市と共に検討を行いました。

地域包括ケアシステム実現に向けた事業の推進では、第6期松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を受け、介護・予防・医療・生活支援・住まいの5つのサービスを一体化した地域包括ケアシステムの実現に向けた事業の取り組みを行いました。特に、個別ケースの課題から地域課題の解決につなげていく「地域ケア会議」を積極的に進めました。また、生活支援コーディネーターを中心に地域の社会資源の把握や多様な生活支援サービスの担い手の養成・人材確保を行いました。併せて、平成29年度からの実施に向け「介護予防・日常生活支援総合事業」「認知症対策の推進」「在宅医療・介護連携の推進」について、松江市と共に取り組みに向けた準備を進めました。

生活困窮者自立支援事業の充実では、本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活自立や社会生活自立など本人の状態に応じた自立支援を目的に新たに「就労準備支援事業」「家計相談支援事業」を松江市から受託し包括的な支援を行いました。

また、平成29年度から完全施行となる社会福祉制度改革に伴い、「地域における公益的な活動の推進」、「法人組織の体制強化」、「法人運営の透明性の確保」等の検討を行いました。また市内47法人の賛同を得て社会福祉法人が緊密に連携し、地域住民の抱える困難な福祉課題の解決などに向けた公益的な事業を行い、社会福祉法人の役割や使命を果たすことを目的に松江市社会福祉法人連絡会を設立し事務局を担当することとなりました。

**Ⅱ　実施事業**

**１．社協運営及び機能強化**

1-(1) 法人運営管理

【総務課】

　法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。また委員会を設置し改正社会福祉法への対応や基金等の運用について検討しました。

①理事会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第１回第２回 | ●日時　平成28年5月30日（月）9:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室出席者　総数24名中16名・松江社協介護センター各事業運営規程の一部改正・美保関介護センター各事業運営規程の一部改正・松南介護センター各事業運営規程の一部改正・宍道介護センター各事業運営規程の一部改正・平成27年度松江市社会福祉協議会事業結果報告・平成27年度松江市社会福祉協議会計収支決算・松江市社会福祉協議会評議員の選任・熊本地震への支援について以上原案どおり可決●日時　平成28年7月12日（火）9:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室出席者　総数24名中21名・委員会の設置（社会福祉法人制度改革検討委員会・基金積立金運用検討委員会）・子ども食堂事業の実施・生活再建・一時保護施設（シェルター）の運営・事務受託法人に係る指定申請・松江市社会福祉協議会評議員の選任以上原案どおり可決 | ・松江市くらし相談支援センターの体制について・松江市障がい者差別解消条例に対する社協としての取組について・介護保険の新しい総合事業への対応について・協議体の動きについて・指定管理施設の水道光熱費が前年度決算比で減額となった理由について・松江市の貧困家庭の状況について・子ども食堂について、　近隣他団体の実施状況や、継続していった場合の財源確保について・事務受託法人として新規認定調査を受け、調査件数が増大することによる体制強化の考え方について |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第３回第４回 | ●日時　平成28年12月21日（水）9:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室出席者　総数24名中22名・社会福祉法人制度改革検討委員会検討報告・基金・積立金運用検討委員会検討報告・松江市社会福祉協議会定款の変更・評議員選任規程の一部改正・評議員選任・解任委員会運営規程の制定・職員の給与に関する規程の一部改正・就業規程の一部改正・定年後継続雇用職員就業規程の一部改正・嘱託・臨時職員就業規程の一部改正・パートタイマー就業規程の一部改正・職員の育児休業及び介護休暇等に関する規程の一部改正・平成28年度松江市社会福祉協議会会計第1号補正予算・自動車保険フリート契約の締結・松江市社会福祉協議会評議員の選任・平成29年度新規職員採用・松江市社会福祉法人連絡会の立ち上げ以上原案どおり可決●日時　平成29年3月24日（金）9:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室出席者　総数24名中21名・経理規程の一部改正・松江市社協介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第１号訪問事業訪問サービス運営規程の制定・美保関介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第１号通所事業通所サービス運営規程並びに第１号訪問事業訪問サービス運営規程の制定・松南介護センター松江市介護予防・日常生活支援 | ・理事・評議員の定数削減について、全地区社協からの選出とならないことになることから、地区代表に議事内容を報告する場の提供について・業務執行理事について専務理事の取扱い・今後の評議員の選任方法と日程について・新規立ち上げしたシェルターと子ども食堂の運営状況について・今年度の車輛事故の状況と保険利用状況について・経理規程における特定理事・監事の考え方について・補正予算における生活支援コーディネート事業受託金の減額理由について・会費や寄付金の募集と広報及び近隣他社協の状況について・要介護認定訪問調査事業の変更点について |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第４回（続き） | 総合事業第１号訪問事業訪問サービス運営規程の制定・宍道介護センター松江市介護予防・日常生活支援総合事業第１号訪問事業訪問サービス運営規程の制定・松東地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正・中央地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正・松北地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正・松南第1地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正・湖南地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正・松南第2地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部改正・平成28年度松江市社会福祉協議会会計第2号補正予算・平成29年度松江市社会福祉協議会事業計画・平成29年度松江市社会福祉協議会会計予算・松江市総合福祉センター清掃業務契約の締結・松江市総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結・東出雲老人福祉センター日直業務契約の締結・松江市社会福祉協議会介護センター給食業務契約の締結・松江市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任・松江市社会福祉協議会評議員の推薦・平成29年度組織機構・常務理事の就任及び理事の退任以上原案どおり可決 | ・相談支援における地区担当の役割について・在宅医療介護連携支援サンタ―における生活支援部分と専門職連携部分の組合せについて・生活支援コーディネート事業の大幅な予算増額となっているが、人員体制を含めた事業展開について・評議員の任期と選任・解任委員の任期が異なる点について・評議員の任期途中に改選する場合の選任方法について |

②評議員会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第１回第２回第３回 | ●日時　平成28年5月30日（月）13:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室　出席者　総数51名中35名・平成27年度松江市社会福祉協議会事業結果報告・平成27年度松江市社会福祉協議会一般会計収支決算・熊本地震への支援・第4次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画以上原案どおり可決●日時　平成28年12月21日（水）13:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室出席者　総数50名中40名・社会福祉法人制度改革検討委員会検討報告・基金・積立金運用検討委員会検討報告・松江市社会福祉協議会定款の変更・平成28年度松江市社会福祉協議会会計第1号補正予算・平成29年度新規職員採用・松江市社会福祉法人連絡会の立ち上げ以上原案どおり可決●日時　平成29年3月24日（水）13:30～場所　松江市総合福祉センター4階　教養室出席者　総数50名中30名・平成28年度松江市社会福祉協議会会計第2号補正予算・平成29年度松江市社会福祉協議会事業計画・平成29年度松江市社会福祉協議会会計予算・松江市社会福祉協議会役員の選任・平成29年度組織機構以上原案どおり可決 | ・27年度子どもの貧困をテーマにフォーラムがあったが、28年度の社協として子どもの貧困の取組みについて・福祉推進員のリーフレットの次回改正時　に子どもの支援の内容を追加提案・評議員の任期４年の根拠について・法改正による地区社協の会則等の見直しが必要であるか・生活支援体制整備事業について・法改正の対応に向けた今後の予定について・株式の保有について検討を提案 |

③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 監査会 | ●日時　平成28年5月19日（木）9:00～・平成27年度 事業報告、会計収支決算監査 | 事業報告書、財務諸表正確であり不整の点なし |

④正副会長会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 第１回第２回第３回第４回第５回 | ●日時　平成28年5月23日（月）11：00～場所　松江市総合福祉センター　会議室出席者　会長1名、副会長3名・第１回理事会・第１回評議員会議案等について●日時　平成28年7月4日（月）11：00～場所　松江市総合福祉センター　会議室出席者　会長1名、副会長3名・第２回理事会議案等について●日時　平成28年9月30日（金）11：00～　　場所　松江市総合福祉センター　会議室出席者　会長1名、副会長3名・平成29年度職員採用について　・新年度事業について●日時　平成28年12月13日（火）11：00～場所　松江市総合福祉センター　会議室出席者　会長1名、副会長3名・第３回理事会・第２回評議員会議案等について●日時　平成28年3月16日（木）11：00～場所　松江市総合福祉センター　会議室出席者　会長1名、副会長2名・第４回理事会・第３回評議員会議案等について |

⑤社会福祉法人制度改革検討委員会

改正社会福祉法に対応して組織の機能強化を図るため、理事や評議員の定数の在り方や、選出区分の方法等を中心に、理事4名外部委員1名により3回の委員会を開催し検討を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 第１回第２回第３回 | ●日時　平成28年7月20日（水）9：50～場所　松江市総合福祉センター会議室　出席者　理事4名、外部委員1名・委員会設置の経過及び社会福祉法の改正についての説明・検討する事項、今後のスケジュールについて●日時　平成28年9月27日（火）10：00～場所　松江市総合福祉センター会議室　出席者　理事3名、外部委員1名・理事、評議員定数の経過と現状及び今後の対応について・県内他市町村における理事、評議員の状況等運営状況について●日時　平成28年11月8日（火）10：00～　　場所　松江市総合福祉センター会議室　出席者　理事4名、外部委員1名・理事、評議員の定数及び選出区分の考え方並びに監事の定数について |

⑥基金・積立金運用検討委員会

マイナス金利の導入により市場金利が低下するなかで、基金や積立金の運用方法について、理事4名外部委員1名により3回の委員会を開催し検討を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 第１回第２回第３回 | ●日時　平成28年7月25日（月）13：30～場所　松江市総合福祉センター会議室　出席者　理事4名、外部委員1名・委員会設置の経過及基金・積立金の状況ついて・検討する事項、今後のスケジュールについて●日時　平成28年9月29日（木）11：00～場所　松江市総合福祉センター会議室　出席者　理事4名、外部委員1名・山陰経済研究所代表取締役社長佐藤幸雄氏の講演を受けて●日時　平成28年12月8日（木）10：00～　　場所　松江市総合福祉センター会議室　出席者　理事4名、外部委員1名・理事会への報告について |

⑦役職員研修会

社協組織の力を高めていくために役職員に対する研修を企画実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 役職員研修会基金・積立金運用研修役職員研修会島根原子力発電所視察職員研修障がい者差別解消条例学習会職員研修認知症サポーター養成講座職員研修福祉学習会 | ●日時　平成28年9月29日（木）場所　松江市総合福祉センター4階　教養室演題　「足元の経済・資金運用環境について」講師　(株)山陰経済研究所　代表取締役社長　佐藤　幸雄　氏参加人数　25人●日時　平成29年2月9日（木） 場所　島根原子力館、島根原子力発電所演題　「島根原子力発電所の安全対策について」講師　島根原子力発電所所長他参加人数　26人●日時　平成28年11月7日（月）8日（火） 場所　松江市総合福祉センター2階　身障者研修室他演題　「松江市障がい者差別解消条例の推進に関する研修」講師　松江市障がい者福祉課　障がい者福祉係長　土江　義夫　氏参加人数　97人●日時　平成28年11月8日（火）9日（水）11日（金） 場所　松江市総合福祉センター2階　身障者研修室他演題　「認知症を学び地域で支えよう」講師　松江市社会福祉協議会職員キャラバンメイト参加人数　37人●日時　平成29年3月6日（月）場所　松江市総合福祉センター4階　教養室 演題　「我が事・丸ごと地域共生社会の実現に向けて人材育成と組織協働のあり方をめぐって」 講師　同志社大学教授　上野谷加代子　氏参加人数　73人 |

⑧中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会）第54期（平成28年度）総会及び研修会 | ●日時　平成28年7月14日（木）～7月15日(金)場所　米子全日空ホテル（米子市）松江市社協参加者　専務理事他 ４人第1日目総会 ・第53期事業報告及び収支決算　　　・第54期事業計画及び収支予算について講演「社会福祉法人制度改革とこれからの社協の取り組みと経営」　全国福祉協議会地域福祉部　副部長　　　　　平井　庸元　氏第2日目シンポジウム　テーマ「今、求められる社会福祉協議会とは・・・」　コーディネーター　　　　　　　　　　　　　　　 平井　庸元　氏実践報告者　　倉吉市社会福祉協議会あんしん相談支援ｾﾝﾀｰ所長　 河本勢津子　氏安来市社会福祉協議会地域包括支援センター長　　　足立　卓久　氏東かがわ市社会福祉協議会事務局長　　　　　　　　江元　祥晃　氏  |

⑨八市社協会

八市社協会は、島根県内八市社会福祉協議会（松江市・浜田市・出雲市・益田市・大田市・安来市・江津市・雲南市）がかかえる問題の解決と、社会福祉活動の充実のために、八市社協会を組織し、相互の連絡・調整及び研鑽を深め、八市社協の発展と振興に資することを目的として平成6年に結成されました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 第１回事務局長会第２回事務局長会 | ●日時　平成28年8月18日（木）場所　出雲市社会福祉会館 議題 ・平成28年度研修会について・地域における公益的な取り組みの進捗状況・社会福祉法人への評議員紹介と｢地域協議会｣への取組みの進捗状況・社協モデル定款への対応について●日時　平成28年12月13日（火）場所　大田市社会福祉協議会議題 ・平成28年度研修会について・規約及び平成28年度予算・事業計画(案)・改正社会福祉法などへの対応について |
| 事業名等 | 内容 |
| 平成28年度八市社協会研修会 | ●日時　平成29年1月21日（土）場所　朱雀会館（出雲市）松江市社協参加者　事務局長他32人特別講演　「和光市おける超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの実践」マクロの計画策定とミクロのケアマネジメント支援　　　・・・第７期介護保険事業計画を見据えて・・・　埼玉県和光市保健福祉部長　　東内　京一　氏 |

⑩松江市社会福祉法人連絡会

改正社会福祉法により社会福祉法人は「地域における公益的な取組み」が責務と位置付けられ、松江市における全ての社会福祉法人が緊密に連携し、社会貢献活動に取り組める仕組みが必要であるとの考えから、本会をはじめ市内7法人が中心となり、計8回の設立準備会を開催し、平成29年1月15日に47法人の参画のもと松江市社会福祉法人連絡会を設立しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 松江市社会福祉法人連絡会設立総会 | ●日時　平成29年1月15日（日）場所　島根県民会館大会議室基調講演「社会福祉法人をめぐる動向と取り組み課題」　島根県社会福祉協議会　企画部長　　森山　誠司　氏記念講演「松江市未来の推進力となる社会福祉法人への期待」　　　　　　　　　　　　　　　　　　松江市長　　松浦　正敬　氏 |

◆松江市社会福祉法人連絡会設立趣意書

|  |
| --- |
| 社会福祉を取り巻く環境が変化する中で社会福祉法人制度の見直しが検討され、平成28年3月に改正社会福祉法が成立しました。その中で法人組織の見直し強化とともに、平成29年度からは社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」も課せられた使命とされました。　この「地域における公益的な取り組み」にあたっては地域のニーズを把握し、既存制度や市場原理では満たされないニーズについて、社会福祉法人が率先して対応していくことが求められます。　そこで地域住民組織である町内会自治会及び地区社会福祉協議会との協働連携を視野に入れた、「地域における公益的な取り組み」の創造などを目的とした「松江市社会福祉法人連絡会（仮称）」を設立し、地域とともに歩む福祉施設として、厳しい情勢を切り拓いていきたいと考えております。目的、事業等については、第１回連絡会を開催の際にご提示し、皆様にご承認をいただきたいと考えております。　つきましては、設立趣旨にご賛同いただき、「松江市社会福祉法人連絡会」にご加入いただきますようお願いいたします　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年8月10日設立人(法人)　社会福祉法人山陰家庭学院　社会福祉法人島根県社会福祉事業団　社会福祉法人しらゆり会　社会福祉法人草雲会　社会福祉法人豊心会　社会福祉法人みずうみ　社会福祉法人松江市社会福祉協議会 |

1-(2) 広報

【総務課】

　①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年６回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。

年6回発行（5月･7月･9月･11月･1月･3月）A4版 白黒 6ページ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 巻数 | 発行日 | 発行部数 | 表紙の内容 |
| 第103号 | 平成28年5月1日 | 1号につき77,900部 | 雑賀地区社協の活動紹介 |
| 第104号 | 平成28年7月1日 | 八束地区社協の活動紹介 |
| 第105号 | 平成28年9月1日 | 法吉地区社協の活動紹介 |
| 第106号 | 平成28年11月1日 | 朝日地区社協の活動紹介 |
| 第107号 | 平成29年 1月1日 | 松江市社協から新年のごあいさつ |
| 第108号 | 平成29年 3月1日 | 鹿島地区社協の活動紹介 |

②ホームページ　http://www.shakyou-matsue.jp/

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報を全国発信しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | H28年度(件) | H27年度(件) |
| 累計アクセス | 年間 | 日平均 | 累計アクセス | 年間 | 日平均 |
| ホームページアクセス数 | 99,177 | **13,588** | **37** | 85,589 | **11,518** | 31 |

1-(3) 社協会費、募金等

①社協会費

【総務課】

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

平成28年度 社協会費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 件　数 | 金　額 | H27年度実績 |
| 一般会費 | 35,663 | 28,539,651 | 28,798,961 |
| 特別会費 | 86 | 175,000 | 166,000 |
| 団体会費 | 60 | 231,000,000 | 233,000 |
| 法人会費 | 126 | 688,000 | 695,000 |
| 計 | **35,935** | **29,633,651** | **29,892,961** |

　　　\*一般会費とは　1世帯当たり800円

　　　\*特別会費とは　個人で一口2,000円以上

　　　\*団体会費とは　福祉施設対象で一口3,000円以上

　　　\*法人会費とは　企業対象で一口5,000円以上

②日赤社費

【総務課】

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、社員（会員）へのご加入と社費（活動資金）のお願いをしました。

日本赤十字社島根県支部松江市地区長　松浦正敬(市長)

平成28年度 日赤社費　　　　　　　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 件　数 | 金　額 | H27年度実績 |
| 普通社費 | 33,480 | 23,435,976 | 23,892,460 |
| 特別社費 | 21 | 84,000 | 160,000 |
| 法人社費 | 117 | 770,000 | 797,000 |
| 計 | **33,618** | **24,289,976** | 24,849,460 |

　　　\*普通社費とは　1世帯当たり700円以上

　　　\*特別社費とは　個人1回2,000円以上で積立20,000円以上

　　　\*法人社費とは　企業対象

③共同募金

【総務課・地域福祉課】

共同募金は、「赤い羽根募金」として広く知られています。共同募金は、10月1日から12月31日まで、全国一斉に行われました。

市民の皆さんのご理解とご協力をいただき、松江市社協（地区社協）や民間団体の活動などで福祉のまちづくりを展開支援するために行う募金（寄付金）です。

◆平成28年度共同募金　　　　　　　　　　　　　　 　（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 件　数 | 金　額 | H27年度実績 |
| 戸別募金 | 31,044 | 24,844,711 | 25,701,290 |
| 街頭募金 | 37 | 329,517 | 256,165 |
| 法人募金 | 388 | 2,193,198 | 1,997,420 |
| 学校募金 | 41 | 721,758 | 801,587 |
| 職域募金 | 69 | 678,953 | 676,132 |
| イベント募金 | 2 | 1,188,115 | 1,191,895 |
| 個人募金 | 9 | 84,171 | 145,000 |
| ピンバッヂ | 133 | 1,353,035 | 1,361,785 |
| その他の募金 | 63 | 552,978 | 721,378 |
| 計 | **31,786** | **31,946,436** | 32,852,652 |

　　　\*戸別募金とは　1世帯当たり800円(目標額)

　　　\*街頭募金とは　10月1日を中心に街頭活動による募金

　　　\*法人募金とは　企業を対象

　　　\*学校募金とは　小中学校を対象「ドラえもん募金箱」(旧あきかん募金)

　　　\*職域募金とは　職場単位　図書カード(500円)やQUOカード(500円)

　　　\*イベント募金とは　市民余芸大会　1枚1,800円(当日券2,000円)

　　　\*個人募金とは　個人を対象

\*ピンバッヂとは　バッヂ500円以上

◆社協会費、日赤社費、共同募金の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | H28年度 | H27年度 | H26年度 | H25年度 | H24年度 |
| 社協会費 | 29,633,651 | 29,892,961 | 30,642,837 | 31,644,314 | 31,102,831 |
| 日赤社費 | 24,289,976 | 24,849,460 | 25,920,270 | 26,933,800 | 25,750,140 |
| 共同募金 | 31,946,436 | 32,852,652 | 32,647,067 | 31,477,163 | 32,557,811 |
| 計 | 85,870,063 | 87,595,073 | 89,210,174 | 90,055,277 | 89,410,782 |

1-(4) 研修啓発・講座

　①松江市社会福祉大会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【総務課】

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 松江市社会福祉大会 | ●日時　平成28年11月21日（月）13：00～会場　松江市総合文化センター　プラバホール内容・表彰式典（会長表彰及び感謝状贈呈）○民生委員功労者表彰　69名○福祉推進委員功労者表彰　14名　　　　○社会福祉施設及び団体役員功労者表彰　11名　　　　○社会福祉施設及び団体職員功労者表彰　39名　　　　○優良社会福祉施設及び団体表彰　5団体　　　　○松江市社会福祉協議会長感謝　15名・記念講演　日本一治安の良い「県都まつえ」の実現に向けて　　　　　講 師　島根県松江警察署　　　　　　　　　署長　新　井　千　尋　氏　参加者　400人 |

②健康福祉フェスティバル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【地域福祉課】

子どもから高齢者・障がい者も含めた市民全体が、健康で生きがいを持って社会参加できるよう、また、あらゆる世代との交流が円滑にできるように、地域等の各種団体の参加と協力を得て、健康福祉フェスティバルを開催し、高齢者・障がい者等に対するノーマライゼーションの意識づくりと、保健福祉事業の啓発を図りました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 2016松江市健康福祉フェスティバル | ●日時　平成28年6月12日（日）9:30～14:30会場　松江市総合体育館内容　オープニング：「乃木ドリーマーズ」による楽器演奏各種コーナー ・健康チェック　・各種体力測定コーナー　・子宮がん検診・健康体操体験コーナー・障がい者施設、団体の出店・活動掲示・ゆるキャラとのふれあいコーナー等　計33コーナー 参加団体　43団体　　来場者数　約2,300人 |

　③第68回松江市民余芸大会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【地域福祉課】

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、手作りの余芸大会として松江市・山陰中央新報社との3団体共催により開催しました。

この事業の収益金は島根県共同募金会へ全額寄付しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 第68回松江市民余芸大会 | ●日時　平成28年12月17日（土）13:00～17:00会場　島根県民会館　大ホール出演団体　15団体来場者数　約1,300人　チケット代1枚1,800円(当日券2,000円)収益金　1,188,115円（松江市共同募金委員会へ寄託） |

　④地域ケア連携推進フォーラム　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【地域福祉課】

あったか地域づくり協議会に参画しJA、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね、くにびき農業協同組合、地区社協会長会と共同開催をし、3つのグループセッションの内1つのグループセッションＣを担当しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 地域ケア連携推進フォーラムまとめのセッション | セッションＣ「生きづらさを抱える人々を支える地域づくりと「地域包括ケア体制」・すまいりーねっととの連携による農福連携（引きこもりや不登校の子どもの居場所づくり）●日時　平成29年3月5日（日）13:00～17:00会場　ＪＡくにびき営農総合センター 進行・助言　上野谷　加代子氏（同志社大学大学院教授）参加人数224人 |

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの善意の預託（寄付）金品をお預かりし、預託された方の意志に基づき地区社協やボランティアグループ・福祉団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、社会福祉事業の推進に役立てられました。

（収入）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | H28年度 | H27年度 |
| 寄付金収入 | 1,040件 | 32,333,103円 | 1,043件 | 30,554,452円 |

（支出）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | H28年度 | H27年度 |
| 福祉団体助成金 | 32件 | 5,722,000円 | 40件 | 7,100,000円 |
| 地区配分金 | 29件 | 17,025,651円 | 29件 | 16,666,825円 |
| 地域援助費 | 64件 | 6,403,218円 | 71件 | 7,229,209円 |
| 指定寄付金 | 24件 | 542,000円 | 16件 | 517,000円 |
| 助成金支出 | 4件 | 100,000円 | 10件 | 200,000円 |
| 社協事業費支出 | 1件 | 3,271,000円 | 1件 | 3,862,000円 |
| 事務費支出 |  | 1,288,414円 |  | 1,306,449円 |
| 計 |  | 34,352,283円 |  | 36,881,483円 |

（収支）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資金収支差額 | **△2,019,180円** | **△6,327,031円** |
| 次期繰越金 | **21,048,364円** | **23,067,544円** |

1-(6) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【地域福祉課】

NPO法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【平成28年度募金（平成29年度事業）】

地域福祉活動推進事業　（公募配分）　　　　　　　　　　　　　　決定総額　3,029,300円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助成団体名 | 事業名 |
| 1 | 傾聴まつえ一期 | 傾聴の会まつえ一期塾 |
| 2 | ＮＰＯ法人おやこ劇場松江センター | "第31回地域子どもフェスティバル |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 助成団体名 | 事業名 |
| 3 | 八束地区健康まつえ２１推進隊 | 八束地区健康づくり事業 |
| 4 | 淞北台いきいきライフを推進する会 | 第４回高齢者生活実態調査事業 |
| 5 | 城西ニコニコ交流館運営協議会 | 音楽で健康長寿・街づくり事業 |
| 6 | 社会福祉法人島根ライトハウス　ライトハウスライブラリー | 第16回ら・ら・ふぇすた |
| 7 | すまいりーねっと | いじめや不登校、引きこもりの子どもや若者の農福連携事業 |
| 8 | ＮＰＯ法人まごころサービス松江センター | 市民電話相談 |
| 9 | 松江地区難病・パーキンソン病患者・家族会　ちどり会 | 難病・パーキンソン病患者の生きがいづくりと啓発活動の推進 |
| 10 | ボランティアグループせんだん | 小学校児童親子による魚のさばき方教室 |
| 11 | 名尾が丘まつり実行委員会 | 「名尾が丘まつり」実行委員会 |
| 12 | 朗読プラネットおはなしぷらす | 朗読教室の自宅開講及び朗読発表会開催 |
| 13 | 玉湯地区母子保健推進員協議会 | 玉湯地区子育て支援事業 |
| 14 | 湯町福祉会 | 町内学童・就労支援施設利用者様との交流事業 |
| 15 | 子どもの発達を考える会 | ワイワイサロン事業（講演会、勉強会、情報交換会、体験事業） |
| 16 | フードドライブ実行委員会 | フードドライブ事業～地域のこころに温もりを～ |
| 17 | 松江市視覚障害者協会 | 見ざる！クライミング・チャレンジ！視覚障害者ボルダリング講習会 |
| 18 | 島根オルタナティブ協議会松江 | クスリの講演会・減断薬座談会・当事者懇談会実施事業 |
| 19 | 松江おもちゃの病院 | 電子回路勉強会＆おもちゃの修理講習会 |
| 20 | 特定非営利活動法人　福祉だんだんネ | 松江市内の障がい者就労支援事業に情報発信事業 |

**２．地域福祉及び連絡調整の強化**

2-(1) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

①地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア）地区研修会（地区社協と協力して実施）

○福祉推進員の委嘱状交付式にあわせ福祉推進員の目的や役割を説明し福祉推進員活動が各地区の実情に合わせ展開できるように研修会を開催しました。

また、民生児童委員と福祉推進員の合同研修会に参加し、普段からの見守りの視点を共有できる見守りチェックリスト等を活用した研修会を行いました。

イ）地区活動の支援

○各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について一緒に考え実践しました。特に、各地区で開催されているなごやか寄り合い事業については、各地区で世話人やボランティアとの交流会を開催するなどお互いの情報共有を図りました。

ウ）民生児童委員協議会への参加

○毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

②地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、地区社協活動を支援し、地域福祉の推進に寄与しました。

　特に今年度は地区活動の活性化と更なる発展することを目的に地区社協役員、担当職員の方々との情報交換会を開催しました（各ブロック１事業ずつ事例報告）。

ア）必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ）重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 | 地区数 | 金　額 |
| 必須事業 | 1地区社協100,000円 | 29地区 | 2,900,000円 |
| 重点・選択事業 | 1地区社協300,000円 | 29地区 | 8,700,000円 |
|  合計 | 11,600,000円 |

◆重点・選択事業の内容一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 地区名 | 重点事業 | 選択事業 |
| 松東エリア | 川津 | ・健康づくり活動の推進・認知症高齢者対策 | ・福祉の集い　・広報活動・障がい児（者）の社会参加をすすめる活動 |
| 朝酌 | ・健康まつえ21推進隊活動・介護予防の健康づくり活動 | ・ふれあい会食　・ミニデイサービス・子育て支援事業・ボランティア養成講座 |
| 本庄 | ・なごやか寄り合いを拠点とした健康づくり事業・健康まつえ21推進事業 | ・ふれあい会食サービス |
| 持田 | ・健康づくり・なごやか寄り合い事業 | ・ふれあい配食サービス・やすらぎ喫茶事業 |
| 島根 | ・健康まつえ21推進事業 | ・ふれあい祭 |
| 美保関 | ・健康づくり活動の推進・介護予防・閉じこもり予防の推進 | ・ボランティア養成講座の開催・子育て支援活動・障がい児（者）の社会参加をすすめる活動 |
| 八束 | ・地域交流サロン「どげな会」 | ・子育て支援事業・一人暮らし高齢者等ふれあい事業 |
| 中央エリア | 城北 | ・健康づくり活動の推進 | ・ふれあい会食　・ミニデイサービス・障がい児(者)社会参加を進める活動・第４次地区福祉活動計画の推進 |
| 城西 | ・健康づくり活動の推進・介護予防・閉じこもり予防の推進 | ・なごやか寄り合い事業 |
| 城東 | ・健康づくり活動の推進・介護予防・閉じこもり予防の推進 | ・防災に関する事業　・子育て支援事業・地域福祉計画推進事業 |
| 白潟 | ・地域と子どもとの交流・健康づくりの推進・介護予防教室の開催・認知症高齢者対策の推進 | ・なごやか寄り合い事業・友愛訪問・広報活動・子育て支援・障がい児(者)の社会参加を進める活動 |
| 朝日 | ・地域で支えあい閉じこもり予防・介護予防の促進・健康づくりの推進 | ・地域ふれあい活動・障がい児(者)の社会参加を進める事業・情報誌の発行 |
| 雑賀 | ・地域の支え合いづくり事業・ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会)・健康づくり事業 | ・ほのぼのサロンときわ(ミニデイサービス) |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 地区名 | 重点事業 | 選択事業 |
| 松北エリア | 古江 | ・健康づくり活動の推進 | ・古江給食サービス |
| 秋鹿 | ・なごやか寄り合い事業 | ・高齢者すこやかふれあい大会 |
| 大野 | ・介護予防・閉じこもり予防の推進・健康づくり活動の推進 | ・ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業)・高齢者との交流事業(愛のプレゼント訪問)・乳幼児教学級(きらきら学級)・配食サービス　・社協だよりの発行 |
| 法吉 | ・健康づくり・認知症対策 | ・自治会福祉対策に対する支援事業 |
| 生馬 | ・元気で長生き道場 | ・情報誌の発行　・高齢者の方の視察研修・子育て支援　・配食サービス・高齢者世帯及び身障者の福祉調査・町内ミニデイサービス　・年末見舞い |
| 鹿島 | ・鹿島地区健康づくり教室・男性介護者交流事業・なごやか世話人活動支援事業 | ・広報誌の発行・子育て支援事業 |
| 松南１エリア | 津田 | ・心とからだの健康づくりの推進 | ・ボランティア喫茶　・友愛訪問・つだ福祉だよりの発行 |
| 大庭 | ・高齢者ふれあい運動会・高齢者福祉講座・研修会・健康講座 | ・ふれあい会　・あそび広場・「大庭福祉だより」の発行・巡回お悩み相談室の開催 |
| 古志原 | ・安全安心見守り事業・介護予防・健康推進事業 | ・福祉ネットワーク事業・広報事業 |
| 松南２エリア | 竹矢 | ・介護・生活習慣病予防講座・健康づくり講座 | ・子育て支援事業 |
| 八雲 | ・健康づくり活動の推進 | ・給食サービス |
| 東出雲 | ・健康まつえ21推進隊事業・乳幼児期健康づくり活動の推進・なごやか寄り合い研修会事業 | ・高齢者安否確認事業 |
| 湖南エリア | 乃木 | ・乃木さんあい健康教室・男の料理教室 | ・ふれあい弁当サービス・地域福祉事業 |
| 忌部 | ・保健協力員・福祉推進員研修会・高齢者の交流の場づくり（大人の広場）・情報交換会の開催 | ・すこやか交流会(ミニデイ)・年越しそば配食サービス |
| 地区名 | 重点事業 | 選択事業 |
| 湖南エリア（続き） | 玉湯 | ・介護予防活動の推進・健康づくり活動の推進 | ・配食・会食サービス・子育て支援事業 |
| 宍道 | ・にこにこサロンＡ | ・ふれあい会食サービス・シルバーレクリエーション(一人暮らし高齢者外出レクリエーション) |

③地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

　○地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（4回）・幹事会（3回）の開催に協力しました。

○平成28年11月22日（火）開催された3団体合同研修会に地区社協事務局として協力し公民館館長会、自治会連合会との連携を図りました。（地区社協会長会25名参加）

○各地区社協会長のスキルアップと相互の交流を図るため平成29年1月25日（水）～26日（木）に滋賀県大津市社会福祉協議会での視察研修を企画しましたが、大雪のため中止となりました。

④福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました。

◆代表者会・研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 代表者会・研修会第1回第2回（地区社協会長会との合同研修会）第3回 | ●日時　平成28年6月29日(水)　 10:00~12:00 会場　松江市総合福祉センター内容　役員の選出について平成28年度事業計画について・各ブロック研修会開催会場について参加人数　21人●日時　平成28年10月12日(水)　 15:00~17:00 会場　ホテル白鳥内容　松江市くらし相談支援センター相談状況について　　　市社協地域福祉課ＣＳＷ事業の取り組みについて　　　「まつえ子ども食堂さいか店」の取り組みについて　　　意見交換参加人数　17人●日時　平成29年3月7日（火）　15:30～16:00　内容　平成28年度事業報告　　　　平成29年度事業日程等について 参加人数　25人 |

⑤福祉推進員研修会

ア）福祉推進員初任者研修会の開催

新任の福祉推進員及び参加を希望される再任の福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割、関係機関（市社協、地区社協、包括支援センター等）の役割や連携についての説明を行いました。

また、「近年の地域福祉の動向と福祉推進員の役割」と題して、島根大学法文学部社会文化学科の加川充浩氏よりご講演をいただき、推進員の役割について理解を深めていただきました。

◆福祉推進員初任者研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 福祉推進員初任者研修会 | ●日時　平成28年7月11日(月)　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター内容　市社協・地区社協・福祉推進員について　　　講演　・演題「近年の地域福祉の動向と福祉推進員の役割」　　　・講師　島根大学法文学部社会文化学科　加川充浩　氏参加人数　140人 |

イ）福祉推進員ブロック研修会の開催

地域福祉活動において重要な役割を担う福祉推進員の活動について共通の認識を持ち、地域での活動がより一層活性化され、効果的な地域福祉の推進に繋がることを目的に開催しました。

併せて、地域にはどのような困り事を抱えながら生活している人々がいるのか、意見交換などを通しての学び合い場を持つことを目的に開催しました。

◆福祉推進員ブロック研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| ブロック研修会ブロック研修会（続き） | 日時・会場・（参加人数） 　　　◎松南　平成28年8月26日（金）13:30～15:30　　　　　　　東出雲老人福祉センター（26人）　　　◎湖南　平成28年8月30日（火）13:30～15:30　　　　　　　宍道公民館（19人）　　　◎中央　平成28年9月5日（月）13:30～15:30　　　　　　　松江市総合福祉センター4階（31人）　　　◎松東　平成28年9月6日（火）13:30～15:30　　　　　　　マリンゲートしまね（36人）　　　◎松北　平成28年9月13日（火）13:30～15:30　　　　　　　松江市鹿島支所2階（31人）　　 内容　　　　○地域福祉課の取り組みについて　　　○グループワーク　　　○生活支援コーディネーター　「ひろげよう！住民主体の生活支援サービス」 |

⑥あったかスクラム事業の支援

特別な支援が必要な子どもたちの余暇活動・親の会の活動支援、また、地域交流や支援体制の仕組みづくりを推進しました。

ア）障がいのある子どもとその保護者への支援

○あったかスクラム事業の支援を行い、継続して活動が出来るように支援

○事業計画会議や親の会、子どもたちの活動に参加し情報を提供

○あったかスクラム事業新規立ち上げの支援

○あったかスクラム事業のPR（パンフレットの更新）

○地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

イ）ぷれジョブの支援

○地区のぷれジョブ定例会等に参加、企業・学校への協力依頼

○ぷれジョブのコーディネート

○地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

＊ぷれジョブとは・・・

地域の人がボランティアでジョブサポーターとなり、学校から地域の企業に毎週１回、障がいのある子とともに、１時間程度就労体験し、障がいのある子もそうでない子も一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るための活動です。

ウ）2016健康福祉フェスティバルのブース出展

　　　あったかスクラムの活動の市民啓発を目的に、2016健康福祉フェスティバルでのブース出展を行った。

◆研修会・情報交換会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 啓発活動 | ●日時　平成28年6月12日(日) 9:30～14:30 会場　松江市総合体育館内容　①チラシを挟んだポケットティッシュの配布 |

2-(2) 緊急事案への対応

【地域福祉課】

1. 生活再建おうちクリーニング事業

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身辺の整理整頓、衛生的生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を2件実施し、自立に向けた支援を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 登録者数 |
| H28年度 | **2件** |
| H27年度 | 4件 |
| H26年度 | 3件 |

2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談･問合せ件数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
| H28年度 | 1,633件 | 2,004件 | 1,280件 | 64件 | 4,981件 |
| H27年度 | 820件 | 1,112件 | 723件 | 29件 | 2,684件 |
| H26年度 | 951件 | 1,725件 | 817件 | 37件 | 3,530件 |

◆契約締結件数 （　）内は年度内契約件数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
| H28年度 | 148件(9) | 121件(6) | 87件(1) | 4件(0) | 360件(16) |
| H27年度 | 139件(4) | 115件(9) | 86件(7) | 4件(0) | 344件(20) |
| H26年度 | 135件(13) | 106件(4) | 79件(10) | 4件(0) | 324件(27) |

◆現在の実利用件数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
| H28年度 | 26件 | 66件 | 35件 | 1件 | 128件 |
| H27年度 | 25件 | 65件 | 38件 | 1件 | 129件 |
| H26年度 | 30件 | 60件 | 36件 | 1件 | 127件 |

　　　　「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 登録者数 | 内活動者数 |
| H28年度 | 66人 | 40人 |
| H27年度 | 63人 | 43人 |
| H26年度 | 54人 | 38人 |

◆生活支援員研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 研修会 | ●日時　平成29年3月22日(水)　13:30～15:40 会場　松江市総合福祉センター　4階教養室 内容　講義　「権利擁護支援と成年後見制度～あなたならどうする?　事例をとおして考えよう！～」　講師　弁護士　三浦益隆　氏（三浦益隆法律事務所）グループワーク･参加者　34人 |

②法人成年後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。法人後見事業は、社会福祉法人松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、ご本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人成年後見事業の推移

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | 計 |
| H28年度 | 3件(後見) | 6件(保佐・後見) | 1件(保佐・後見) | **10件** |
| H27年度 | 3件(後見) | 5件(保佐・後見) | 2件(保佐・後見) | 10件 |
| H26年度 | 2件(後見) | 5件(保佐・後見) | 2件(保佐・後見) | 9件 |

◆法人後見支援員の配置状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 登録者数 | 内活動者数 |
| H28年度 | 2人 | 2人 |
| H27年度 | 1人 | 1人 |

③市民後見人等養成事業

ア）「市民後見人等養成講座（実務編）の実施～修了者　8名

（28.5単位+レポート作成2）

◆市民後見人等養成講座プログラム

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 講座 | 開催日・会場 | 項　　　目 | 時　　　間 | 担　　　　当 |
| 講座１ | 7月2日(土)福祉センター1階 会議室 | 開講式 | 10:00～10:30 | 社協生活支援課 |
| 成年後見の実務Ⅱ（財産目録作成、後見計画・収支予定表作成） | 10:30～12:30 | 法テラス島根法律事務所弁護士 三浦益隆 氏 |
| 成年後見の実務Ⅱ（報告書作成） | 13:30～15:00 |
| 体験実習について | 15:00～15:30 | 市社協生活支援課　 |
| 講座２ | 7月9日（土）福祉センター1階 会議室 | 地域福祉の現状と課題 | 8:50～10:20 | 市社協地域福祉課課長 目次宗生 |
| 家庭裁判所の役割（後見担当部局概要、裁判所手続理解） | 10:30～12:30 | 松江家庭裁判所主任調査官 岸本佐紀子 氏 |
| 成年後見の実務Ｉ（申立手続き書類作成・申立書の作成） | 13:10～14:40 | 松江市保健福祉課福祉政策係主任 原貴志 氏 |
| 対人援助の基礎 | 14:50～16:50 | 松江市くらし相談支援センター 主任相談支援員 奥原宏幸 |
| 講座３ | 7月16日（土）福祉センター1階 会議室 | 成年後見の実務Ⅱ（身上監護の実務・知識） | 13:30～15:00 | 法テラス島根法律事務所弁護士 三浦益隆 氏 |
| 成年後見の実務Ⅱ（後見事務終了時の手続き） | 15:10～16:40 |
| 体験実習 | 7月～8月 | 体験実習①・日常生活自立支援事業の同行 | 平日3時間 | 市社協生活支援課 |
| 体験実習②・施設実習 | 平日4時間 | 障がい者施設高齢者施設 |
| 講座４ | 8月6日（土）福祉センター1階 会議室 | 成年後見の実務Ⅱ（課題演習・事例報告と検討） | 9:00～15:00 | 法テラス島根法律事務所弁護士 三浦益隆 氏 |
| 地域の現状について（各種施策の状況、社会資源） | 15:10～16:40 | 松江市保健福祉課福祉政策係主任 原貴志 氏 |
| 閉講式・修了書授与 | 16:40～17:10 | 市社協生活支援課 |
| ※レポート提出（2テーマ） |  |

イ）市民後見人等養成講座（基礎編）の実施　　修了者　8人

（13単位）

◆市民後見人等養成講座（基礎編）プログラム

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 講座 | 開催日・会場 | 項　　　目 | 時　　　間 | 担　　　　当 |
| 講座１ | 11月27日（日）福祉センター1階 会議室 | 開講式 | 10:00～10:10 | 市社協生活支援課 |
| 事務局説明、成年後見制度ＤＶＤ研修 | 10:10～11:10 | 市社協生活支援課生活支援係長 清原正憲 |
| 日常生活自立支援事業ＤＶＤ研修 | 11:15～12:00 | 市社協生活支援課主事 福庭真理子 |
| 成年後見制度概論（心構え）、成年後見人の業務 | 13:00～16:00 | 法テラス島根法律事務所弁護士 三浦益隆 氏 |
| 講座２ | 12月3日（土）福祉センター1階 会議室福祉 | 消費者被害への対応 |  9:30～10:10 | 島根県消費者センター消費生活専門相談員福田雅子 氏 |
| 障がい者制度と福祉サービス | 10:15～10:55 | 松江市障がい者福祉課係長 土江義夫 氏 |
| 障がい者の特性と理解 | 11:00～12:00 | まつえ障がい者サポートステーション絆 相談員 梶谷余裕 |
| 認知症高齢者の特性と理解、介護保険制度のしくみと内容 | 13:00～15:00 | 地域包括ケア推進課湖南地域包括支援センターサテライト 社会福祉士 錦織満 |
| 講座３ | 12月18日（日）福祉センター1階 会議室福祉 | ・申立支援・任意後見人の業務・就任直後の職務・就任中の職務・任務終了に関する事務 | 13:00～16:30 | 法テラス島根法律事務所弁護士 三浦益隆 氏 |
| 市民後見人等の役割と連携 | 16:30～16:50 | 市社協生活支援課生活支援係長 清原正憲 |
| 閉講式・修了書授与 | 16:50～17:00 | 市社協生活支援課 |

ウ）市民後見人バンク登録

　松江市市民後見人等養成講座修了者で本会の市民後見人バンク運営基準を満たした9名の方が、市民後見人バンクに登録されました。

エ）成年後見制度講座の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度」をテーマに成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の市民講座を開催しました。併せて市民後見人等養成講座(基礎編)の受講者募集も行いました

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 成年後見制度啓発事業 | 日時 平成28年10月2日（日）13:30～15:30会場　松江市総合福祉センター内容　成年後見制度講座「ご存知ですか？成年後見制度」講師　弁護士　三浦益隆　氏(法テラス島根法律事務所)参加者 35人講座終了後に、市民後見人養成講座の説明と基礎講座の受講者募集を行いました。 |

オ）フォローアップ研修の開催

市民後見人等養成講座のフォローアップ研修として「権利擁護支援と成年後見制度」研修

会を開催しました。内容は、前述の「生活支援員研修会」に同じ。

④権利擁護推進委員会

ア）権利擁護推進委員会

・目的　　高齢者・障がい者等の権利を守るため、地域における権利擁護のあり方を検討するために開催

・委員　　医師、弁護士、司法書士、社会福祉士、市介護保険課長、市障がい者福祉課長、市生活福祉課長、市社協地域福祉課長、市社協地域包括ケア推進課長

・事務局　市保健福祉課、市社協生活支援課

・開催日　3月17日

**３．ボランティア活動及び福祉教育**

3-(1) コーディネート機能強化、見直し

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 登録ボランティア分類 | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 個人ボランティア | **191名 （55）** | 143名　 | 193名　 |
| 団体ボランティア | **104団体（22）** | 96団体 | 98団体 |

（　）は平成28年度の新規登録者（団体）数

◆ボランティアの斡旋実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用状況 | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 派遣依頼数 | **234件** | 181件　 | 276件　 |
| 派遣団体数 | **103団体（34）** | 83団体 | 130団体 |
| 個人ボランティア延派遣者数 | **195人（53）** | 253人　 | 421人　 |
| コーディネート数 | **227件** | 175件　 | 263件　 |
| キャンセル・該当者なし | **7件** | 6件　 | 13件　 |

（　）は平成28年度の実派遣者（個人、団体）数

◆市民の相談機関・団体等へのニーズ調査

くらし相談支援センター、障害者サポートステーション絆、地域包括支援センター等社協相談機関、市生活福祉課と連携し必要に応じてボランティアのコーディネートを行いました。

◆施設との情報交換会の開催

　施設でのボランティア活動がよりスムーズに行うことができるようボランティア受け入れ施設との情報交換会を実施しました。

　日　時　平成28年6月24日　　14施設参加

　会　場　総合福祉センター　１階：会議室ボランティアルーム

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

①育成研修

①-1サマーチャレンジボランティア2016（高校生ボランティア育成研修）

実施期間：平成28年7月24日(日)～8月21日(日)

内　容　：①事前研修後に施設でボランティア体験（実施期間の内2日間）を行う。

後に、事後研修会を実施しました。

②体験先：保育所、児童クラブ、児童館、障がい者施設、友遊事業

③事後研修：ボランティア体験での感想発表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| **37名** | 24人 | 38人 |

参加者数：

①-2あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア）「あいサポートメッセンジャー」の育成

○メッセンジャー育成研修（島根県主催）に参加しました。

○松江市内のメッセンジャー登録者（158名）に対し、派遣依頼調査、名簿整理を行いました。

○「あいサポート通信」を発刊しました。（１回）

イ）あいサポーター研修の受付・推進

○企業、団体等に対してメッセンジャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・63団体　　　受講人数・・・1,978人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団体種別 | 団体数 | 団体種別 | 団体数 |
| 小学生以下 | 3 | 地域住民 | 1 |
| 中高生 | 4 | ボランティア、福祉活動者 | 18 |
| 大学生 | 0 | 行政 | 25 |
| 企　業 | 12 | 合計 | 63 |

②養成研修

障がい児・者を支える人材の育成

ア）障がい児・者ボランティア講座の開催　　受講者　11人

様々な障がいの特性について学ぶとともに、実践活動として地域・学校等の障がい児・者支援の活動への参加を通して、障がいについて理解を深め、すべての人が共に生きるあたたかい地域づくりの推進を図ることを目的に開催しました。

◆障がい児・者ボランティア講座プログラム

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 講座 | 開催日・会場 | 項　　　目 | 時　　　間 | 担　　　　当 |
| 第１回講座 | 9月3日（土）総合福祉センター | あいサポーター研修知的障がい者サーフィンスクールの活動について | 9：30～12：00 | Do The Sea代表　上野丈二氏 |
| 実践活動「障がい方に寄り添った接し方」 | 松江市精神障がい者地域生活支援センターアクティヴきたほり所長　石田亮子氏 |
| 第２回講座 | 10月1日（土）総合福祉センター | 障がいのある人から学ぶこと | 10：00～12：00 | 島根県立大学短期大学部名誉教授　高橋憲二氏 |
| 第３回講座 | 11月5日（土）総合福祉センター | 当事者の方から話を聞く（リレートーク）参加者からの質問・感想を聞き交流 | 9：30～11：30 | ・視覚障がいについて講師①石田尚志氏・身体障がいについて講師②米山修二氏・家族の視点[松江市ことばを育てる親の会]講師③津田昭美氏 |

イ）地域ボランティア活動への意向調査の実施

障がいについて学ぶ市民講座受講修了者に、市内のあったかスクラム事業のサポーター協力について依頼。連絡先の提供について了承をされた方の氏名、連絡先を一覧にし、各あったかスクラムの代表者に提供しました。

③ボランティア登録時研修

　新規登録者55名が登録される際に随時「ボランティアの心得」を説明しました。

④ボランティア活動基礎研修

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日時 | 参加数 | 講　座・項　目 | 担　　　　当 |
| 第1回　8月6日(土)10：00～11：30第2回　8月28日(日)13：00～14：30第3回　9月10日(土)10：00～11：30 | 20人 | 視覚障がい者支援のボランティア活動者研修・あいサポーター研修(主に視覚障害の分野)・ガイドヘルプ研修(介助実技) | 講師　山陰網膜色素変性症協会より3名 |
| 10月2日（日）10：00～12：00 | 31人 | 個人ボランティア登録者拡大研修「はじめてみませんか？私にできるボランティア」入門講座ボランティア活動を始める前の心得 | ボランティアセンター |
| 知って得する！コミュニケーション技術 | 臨床心理士　荒川　ゆかり氏 |

※研修後の個人ボランティアへの登録者15名

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放及び備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用状況 | Ｈ28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 実利用日数 | **211日**  | 241日  | 267日  |
| 延べ利用団体数 | **283団体** | 303団体 | 399団体 |
| 延べ利用人数 | **1,301名**  | 1,115名  | 1,509名  |

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貸出機材 | Ｈ28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 印刷機 | **151件** | 168件 | 170件 |
| コピー機 | **67件** | 68件 | 94件 |
| 車椅子 | **113件** | 108件 | 147件 |
| アイマスク | **6件** | 10件 | 7件 |
| その他（OHP、資料図書等） | **45件** | 51件 | 81件 |

◆ボランティア保険の加入促進

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ボランティア保険種類 | Ｈ28年度 | H27年度 | H26年度 |
| ボランティア活動保険　 | **9,227名** | 8,713名 | 8,522件 |
| ボランティア行事用保険 | **420件** | 400件 | 408件 |
| 福祉サービス総合補償 | **14件** | 15件 | 12件 |
| 送迎サービス補償 | **4件** | 5件 | 4件 |

②松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

◆松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分類 | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 健康・福祉・まちづくり | **35団体** | 34団体 | 36団体 |
| 子ども・青少年・人権 | **22団体** | 23団体 | 24団体 |
| 文化･芸術･ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ･国際･情報 | **37団体** | 36団体 | 38団体 |
| 計 | **94団体** | 93団体 | 98団体 |

③企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

○加入者数　企業会員71企業　　個人会員47名

○主な活動 松江市民余芸大会への参加・チケット販売、美化活動（水郷祭時の清掃等）

　　　　　　だんだん夏踊りへの協力、赤い羽根共同募金街頭募金活動への協力

　　　　　　水燈路の行燈の出展、審査、表彰授与等

3-(4) 福祉教育の推進

福祉教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

◆福祉学習推進の支援（講師派遣数）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | Ｈ28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 学校関係 | 21回 | 31回 | 24回 |

宍道高校（4回）、本庄中（3回）、玉湯中・津田小・竹矢小（2回）

法吉小・島根大学・美保関中・鹿島中・女子高・八束学園・川津小・松江裁判所（1回）

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

 ホームページの充実や相談受入の充実につとめました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」年2回発行しました。

◆ホームページの充実は必要に応じ更新しました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ、ベルマーク等受付）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | Ｈ28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 受付件数 | 81件 | 103件 | 154件 |

◆第12回松江市ボランティアフェスティバルの開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 第12回松江市ボランティアフェスティバル | 広がれボランティアの輪　●日時　平成29年3月26日(日) 会場　松江市総合福祉センター全館主催　第12回松江市ボランティアフェスティバル実行委員会構成団体　松江市ボランティア連絡協議会企業ボランティア松江ネットワーク会議松江市社会福祉協議会（松江市ボランティアセンター） 内容　〇各種団体の展示・体験・販売・ステージ発表　　　　（しらとり保育所、松江一中、松江東高、松江南高、松江養護学校、ボランティア団体、福祉作業所等）　　　 〇高校生による「未来のまつえ」プレゼンテーション・松江北高・松江東高・松江農林高・松江商業高・松江市立女子高〇特別ゲスト森本ゆりあさん○高校生交流会参加者　約1,000人（来場者800人、ボランティアスタッフ200人） |

**４．在宅生活支援事業の推進**

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

地域包括ケアシステムを推進するために、平成28年度は「地域ケア会議の充実」を図り、地域ケア会議に、関係機関の他にアドバイザーとして医師、弁護士、訪問看護師、薬剤師、臨床心理士、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職や行政に参加してもらい、困難事例の支援や介護予防・自立支援に向けたケアマネジメント等をテーマに実施しました。また、地域ケア会議や高齢者の実態把握訪問から見えてきた地域共通の課題については、公民館、地区社協、民生児童委員、福祉推進員、自治会長、住宅供給公社等の関係者に参加していただき検討しました。

総合相談では、虐待疑いの相談が増加しており、市と協議しながら対応していますが、対応に苦慮している経済的虐待ケースもあります。これは高齢化・核家族化の進展、老親と子のみの世帯の増加、失業や低所得による経済的な困窮などの原因があるものと思われます。　　　　　また認知症の相談も増え、徘徊、独居世帯で生活状況の悪化、地域とのトラブル、介護者への負担増加など、家族だけでは介護できない状況があり、警察、民生児童委員、主治医、ケアマネ等関係機関やご近所等と調整を取りながら対応を行いました。認知症の理解者を増やすため、認知症サポーター養成講座開催や徘徊高齢者家族への支援、社協だより等での広報なども積極的に行いました。医療と介護の連携強化により医療機関から紹介の新規相談者が増加しました。

平成29年4月から始まる「在宅医療・介護連携推進事業」「認知症総合支援事業」との連携や、生活支援コーディネーターと共に「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」へのスムーズな移行に向けて、「介護予防ケアマネジメントマニュアルの作成」や介護支援専門員への説明会の開催等、市と協議を重ね準備を進めました。

■重点事業

1. 医療と介護の連携強化の推進

　○在宅医療・介護連携推進事業について、松江市における現状把握や課題の整理を市と共に

行い、在宅医療介護連携支援センターと行政の役割について整理をしました。

○介護従事者と医療との連携を図るための包括公開講座を開催しました。

○医師会とケアマネ協会との合同研修会の開催を支援しました。

○開業医とケアマネジャー等の連絡会議の立ち上げや運営の支援をしました。

イ）認知症支援の取り組み

　○認知症の予防・啓発に向けて、地域・企業・高校等で認知症サポーター養成講座を開催

しました。

　○認知症初期支援チーム、認知症地域支援員と地域包括支援センターとの連携について、

想定される事例について検討しました。

ウ）介護予防・日常生活支援総合事業へのスムーズな移行

○新総合事業への移行に向けて市と協議し、申請からサービス利用の流れの確認や介護予防ケアマネジメントマニュアルの作成、高齢者への説明用リーフレットの作成をしました。

〇介護予防ケアマネジメントに関する介護支援専門員への説明会を市と共に開催しました。

エ）地域ケア会議の実施に向けた取り組み

○包括ごとに地域ケア会議を運営し地域課題を整理すると同時に、合同地域ケア会議を開催し、多職種のアドバイザーに参加いただき高齢者の課題解決と介護支援専門員自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高めました。

オ）虐待・困難事例への対応

○増加する虐待事案に対応するため、市介護保険課と緊密な連携体制をとり、迅速・適切

なケース対応が図れるよう推進しました。

○虐待困難事例検討会の開催や高齢者虐待等対策検討会に事例を提出し、対応について精神科医、弁護士、社会福祉士から助言をいただき、相談員の質的向上を図りました。

カ）地域におけるネットワークの構築

○地区社協、公民館、自治会、民生児童委員、福祉推進員、交番等との連携を図り、早期

発見・見守り・助け合いの活動など地域と協働できる体制をつくりました。

○高齢者お役立ち情報の更新・活用に向けて、生活支援コーディネーターと共に各地区の住民とともに情報収集、情報共有を図りました。

○地域包括支援センターの役割・よくある相談紹介・介護予防・消費者被害の防止・高齢者虐待防止・新総合事業について、社協だより、包括チラシ等で周知をしました。

◆相談件数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 相談件数 | 相談実利用者 | 新予防給付管理プラン数(3月末) | 地域支援活動会議参加回数 |
| H27 | H28 | H27 | H28 | H27 | H28 | H27 | H28 |
| 中央地域包括 | 2,237 | 2,806 | 555 | 582 | 425 | 440 | 277 | 259 |
| 松北地域包括 | 1,557 | 1,827 | 341 | 358 | 294 | 304 | 116 | 149 |
| 松東地域包括 | 3,071 | 2,793 | 592 | 513 | 356 | 379 | 257 | 268 |
| 湖南地域包括 | 2,867 | 2,854 | 515 | 484 | 302 | 335 | 175 | 248 |
| 松南第1地域包括 | 2,251 | 2,397 | 522 | 480 | 381 | 429 | 154 | 171 |
| 松南第2地域包括 | 1,726 | 1,799 | 363 | 430 | 210 | 234 | 203 | 208 |
| 計 | 13,709 | **14,476** | 2,888 | **2,847** | 1,968 | **2,121** | 1,182 | **1,303** |

◆ケアマネジャー支援の件数

|  |  |
| --- | --- |
| 区　分 | 相談件数 |
| H27 | H28 |
| 中央地域包括 | 92 | 160 |
| 松北地域包括 | 42 | 46 |
| 松東地域包括 | 250 | 273 |
| 湖南地域包括 | 98 | 74 |
| 松南第1地域包括 | 217 | 202 |
| 松南第2地域包括 | 124 | 131 |
| 計 | 823 | 886 |

◆公開講座

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 公開講座第１回目第２回目 | ●日時　平成28年7月1日(金)　18:30～20:00 会場　松江市総合福祉センター 内容　講演「診療報酬改訂と退院支援～市立病院の取り組みについて」　　　 講師　松江市立病院　医療ソーシャルワーカー　吾郷　利宏　氏 参加者数　109人●日時　平成28年10月24日(月)　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター 内容　講演　「人と地域を元気にする地域ケア会議を目指して」　　　　　　　　～リハビリテーションの専門職の視点から　　　 講師　飯南町保健福祉課　地域包括支援センター　　　　　　　理学療法士　嘉田　将典　氏 参加者数　98人 |

◆ブロック連絡会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| ブロック連絡会第１回目第２回目 第３回目第４回目 | ●日時　平成28年4月20日(水)　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター 内容　介護保険課、地域包括支援センターから情報提供参加者数　174人●日時　平成28年6月23日(木)　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター 内容　講演「高齢者虐待防止と人権擁護」　講師　弁護士　鳥居竜一　氏 参加者数　122人●日時　平成28年9月20日(火)　 13:30～15:30 会場　いきいきプラザ島根　４階 内容　３年未満ケアマネ研修会 参加者数　48人●日時　平成29年3月23日(木)　 13:30～15:30会場　松江市総合福祉センター内容　介護予防ケアマネジメント事業に関する説明会参加者数　195名 |

◆松江市事例検討会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 松江市事例検討会第１回目第２回目第３回目第４回目第５回目第６回目 | ●日時　平成28年5月20日(金)　10:00～12:00 会場　松江市総合福祉センター参加者数　44人　●日時　平成28年7月19日(火)　13:30～15:00 会場　いきいきプラザ参加者数　51人　(橋南エリア)●日時　平成28年7月20日(水)　10:00～12:00 会場　松江市総合福祉センター参加者数　49人　(橋北エリア)●日時　平成28年11月14日(月)　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター参加者数　95人●日時　平成29年1月12日(木)　13:30～15:30 会場　いきいきプラザ参加者数　63人　(橋南エリア)●日時　平成29年1月18日(水)　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター参加者数　50人　(橋北エリア) |

◆気づきの事例検討会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 気づきの事例検討会ケアマネ協会との合同事業 | ●日時　隔月第3火曜日実施　18:30～20:30 会場　いきいきプラザ島根 内容　地域におけるスーパーバイザー育成のための事例検討会参加者数　30人 |

◆虐待困難事例検討会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 虐待困難事例検討会 | ●日時　全12回　毎月１回開催実施　13:30～15:30 会場　松江市総合福祉センター 内容　助言者を招き、包括内におけるスキル向上のための事例検討会参加者数　15人 |

◆地域ケア会議

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 各包括での地域ケア会議合同地域ケア会議第1回第2回第3回第4回 | 個別ケースの情報共有と今後の支援について地域の関係者を含めて開催し、それぞれ役割分担を行った。個別課題の検討　開催回数　62回 参加者数　延297人　地域課題の検討　開催回数　48回　　参加者数　延543人多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める●日時　平成28年12月13日（火）9：00～11：30 会場　松江市総合福祉センター 検討事例　3事例 参加者数　33人●日時　平成28年12月14日（水）9：00～11：30 会場　松江市総合福祉センター 検討事例　3事例 参加者数　27人●日時　平成29年2月16日（木）13：30～16：30 会場　松江市総合福祉センター 検討事例　3事例参加者数　41人●日時　平成29年2月22日（水）13：30～16：30 会場　松江市総合福祉センター 検討事例　3事例参加者数　34人 |

◆熱中症予防の注意喚起

平成28年度は、6月より30度以上の真夏日が続くことが多く、包括の訪問世帯やなごやか寄り合いの会場等で熱中症予防の啓発チラシの配布や電話などで注意喚起を行いました。

◆訪問・電話等で注意喚起した人数

|  |  |
| --- | --- |
| 月別 | 注意喚起数 |
| 6月 | 991人 |
| 7月 | 1,023人 |
| 8月 | 982人 |
| 計 | 2,996人 |

◆なごやか寄り合い等、注意喚起した団体数・人数

|  |  |
| --- | --- |
| 月別 | 注意喚起数 |
| 団体数 | 参加者数 |
| 6月 | 31団体 | 714人 |
| 7月 | 31団体 | 760人 |
| 8月 | 22団体 | 411人 |
| 計 | 84団体 | 1,885人 |

＊期間：平成28年6月1日～8月31日

■生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

　第1層（全市的）生活支援コーディネーターを27年度1名配置し、28年度第2層生活支援コーディネーターを1名配置し、次の通りの活動を行いました。

ア）地域の社会資源把握と情報発信

　　　地域福祉課地区担当者、地域包括と連携し、福祉推進員、民生児童委員、町内会自治会等を対象とした「高齢者の暮らし困ったこんな時お知恵拝借シート」を使ったワークショップを前年度に引き続き実施し28年度26地区が終了した。残り3地区については、2地区は29年度実施予定となっています。

イ）インフォーマル社会資源の調査と活用

　　「高齢者お役立ち情報」の情報更新（805件）を行うとともに、「高齢者の暮らし困ったこんな時お知恵拝借シート」により新たに把握した社会資源を、地域住民と共に再調査し「高齢者お役立ち情報」に掲載しました。

　　　また、掲載依頼のあった事業所の情報は随時掲載を行いました。

　　　NTTドコモ島根支店の協力により、地域向けの「シニアのためのスマホ・ケータイ教室」を企画した。

ウ）地域の課題検討

　　　「高齢者の暮らし困ったこんな時お知恵拝借シート」をもとに「地域の課題見立てと手立て検討シート」を作成し、地域福祉課地区担当者・地域包括・地区社協担当者と課題分析を行いました。

ここから見えた課題を「松江市地域支え合い協議体」に報告し、今後の介護予防・生活支援サービス事業の検討材料としました。

地域包括が実施する地域ケア会議に参加し、個別支援ケースから地域課題について話し合いを行った。

エ）ネットワークづくり

　　　松江市内の住民参加型在宅福祉サービス団体のネットワークづくりを進めるため、松江市とともに新総合事業の説明と意見交換会を行いました。

　　　3月3日八雲地区において、「八雲あんしんネットワーク会議」が開催され、今後は同会議を第2層協議体として位置づけ開催することが決定しました。

　　　1月15日に47社会福祉法人による「松江市社会福祉法人連絡会」を設立し、今後地域の福祉課題解消のための協力を得られるよう働きを行っていきます。

オ）サービスの担い手確保

　　　2月2日に平成28年度くらし安心サポートセミナーを実施し、20名が受講した。そのうち19名が地域の支え合い活動の担い手として登録された。

　　　社会福祉法人みずうみの協力を得て、平成29年5月18日より法吉地区にある喫茶店「カフェ太郎」での住民主体の通いの場を立ち上げることとなりました。

　　　訪問型サービスA（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、2月23日、3月2日、3月9日に平成28年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。18名が受講をされ、松江市より修了証が渡されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

|  |  |
| --- | --- |
| 活動の項目 | 件数 |
| 地域ニーズ、社会資源の把握に関すること | 174 |
| 多様な主体への働きかけ・関係者のネットワーク化に関すること | 107 |
| 生活支援の担い手養成やサービスの開発に関すること | 56 |
| その他事業推進に必要な業務 | 256 |

②認知症地域支援推進事業

【地域福祉課】

ア）予防・早期発見

○お笑い認知症予防教室の開催

地域住民に認知症に対しての理解をしていただくため寸劇を通して啓発しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 会　　場 | 内　　　容 | 参加者数 |
| 4月17日 | 青葉台集会所 | 要配慮者支援組織 | 概ね30人 |
| 7月6日 | 竹矢公民館 | 竹矢推進員研修 | 概ね60人 |
| 7月22日 | 警察学校 | 警察学校授業として | 概ね100人 |
| 9月28日 | 美保関稲積会館 | なごやか寄り合い | 概ね10人 |
| 10月22日 | 国分寺集会所 | なごやか寄り合い | 概ね20人 |
| 11月9日 | 竹矢灘分集会所 | なごやか寄り合い | 概ね30人 |
| 11月10日 | 竹矢公民館 | 東出雲・竹矢民協研修会 | 概ね40人 |
| 11月15日 | 竹矢公民館 | 竹矢要配慮者支援会議 | 概ね100人 |
| 11月24日 | 島根町 | なごやか寄り合い | 概ね20人 |
| 12月15日 | よらこい喫茶 | 竹矢よらこい喫茶 | 概ね60人 |
| 2月27日 | 意東小学校 | 小学校にて認知症サポーター研修 | 概ね40人 |
| 3月4日 | 富士見ヶ丘集会所 | なごやか寄り合い | 概ね30人 |
| 3月23日 | 西市場公会堂 | 西市場高齢者クラブ | 概ね20人 |
| 3月30日 | 下意東集会所 | なごやかよりあい | 概ね20人 |

イ）支援者づくり・まちづくり

○徘徊SOSネットワークの強化

認知症見守りネットワーク運営の強化

認知症見守りネットワークの協力者募集を機会あるごとに行い登録を促しました。

9月21日のアルツハイマーデーに認知症家族会松江支部と協力し、チラシ等の配布を松江駅並びにイオン松江店にて実施しました。

松江市自治会連合会に各単位自治会での認知症サポーター養成講座の開催依頼を行い認知症への理解と、認知症見守りネットワークへの協力依頼を行いました。

軽度知的障がいの方の行方がわからなくなり、情報提供を判断する親族が居られなかったため、社協内に設置した対策本部として生命の危機があると判断し、情報配信を行いました。

◆認知症見守りネットワーク

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 登録者数(利用者) | 登録者数(協力者) | 協力事業所数 | 稼動回数 |
| H28年度 | 142人 | 709人 | 25事業所 | 3回 |
| H27年度 | 115人 | 695人 | 25事業所 | 4回 |
| H26年度 | 67人 | 495人 | 25事業所 | 12回 |

○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立で不慣れな家事などに苦労し、孤立しがちな男性介護者の支援として、平成21年度から、男性介護者の集いを開催(毎月第3金曜日：総合福祉センター)し、当事者同士の情報交換会などを企画し、介護者の負担軽減に取組んできました。

男性介護者同士で気軽に立ち寄り、日ごろの悩みや様子等を語り合える「フリースペース」を開設しました。

◆男性介護者の集い参加状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　開催月 | 参加人数 | ボランティア | 相談対応 |
| 4月 | 2人 | 傾聴ボランティア「まつえ一期の会」 | ・地域包括支援センター・地域福祉課 |
| 5月 | 4人 |
| 6月 | 3人 |
| 7月 | 5人 |
| 8月 | 5人 |
| 9月 | 7人 |
| 10月 | 5人 |
| 11月 | 4人 |
| 12月 | 4人 |
| 1月 | 9人 |
| 2月 | 7人 |
| 3月 | 7人 |
| 計 | **62人** |

○家族介護者交流会

高齢者等を介護している家族が、介護者相互の交流会へ参加したり、研修を受けることによって元気回復を図っていただくことを目的に実施しました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 日時 | 会場 | 参加者 | 内容 |
| １回目 | 平成29年1月24日（火）10:30 ～ 13:30 | 玉造温泉ゆ～ゆ | 大雪のため中止 | 山形弁で語る民話の講演と、温泉入浴及び交流昼食会（講師：多勢久美子さん） |
| ２回目 | 平成29年1月27日（金）10:30 ～ 13:30 | 鹿島　多久の湯 | 7名 |
| ３回目 | 平成29年2月9日（木）10:30 ～ 13:30 | 玉造温泉ゆ～ゆ | 10名 |
| ４回目 | 平成29年2月15日（水）10:30 ～ 13:30 | 鹿島　多久の湯 | 4名 |

4-(2) 支援策研究開発会議

【生活支援課】

総合相談機能の強化及びコミュニティソーシャルワーク機能の強化を図るため、「支援策研究開発会議」を開催し、「研究会」と「開発会議」の二つの会議を柱に、事業と事例の検証を重ね、組織における問題・課題の洗い出しとその対策について検討し、社協だからこそできる領域にとらわれないコミュニティソーシャルワーク的アプローチをそれぞれの業務で実践していくために、各課事業の進捗管理、職員からのミドルアップ、管理職への提言、そしてミドルダウンを行う会議として取り組みました。

また、市民向けの講座としてタイムリーなテーマで市民公開講座と個別の相談会を開催しました。

◆会議開催状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 回数 | 内　容 |
| 開発会議 | 13回 | 各課重点事業の進行管理（情報共有・課題整理）、総合相談機能の強化（個別へのアプローチ）・ニーズ把握、地域づくり（新しいサービス、仕組みの創出）、地域へのアプローチ |
| 研究会第1回第2回 | 2回 | ●日時　平成29年1月13日(金)　 参加者 53名 「ファシリテーター伝達研修～ホワイトボードミーティング～」支援の現場で活かせるファシリテーション技術として、ホワイトボードを活用した効率的・効果的な会議の進め方について研修しました。●日時　平成29年3月29日(水) 参加者 67名 「社協事業報告会」○松江市社協の今後の事業展開について○H29年度松江市社協事業計画・予算について○地域ケア会議、在宅医療介護連携支援センターについて○コミュニティソーシャルワーカーの取り組みについて○まめなかポイント（福祉ボランティアポイント）について○生活支援コーディネーターの取り組みと今後○絆Ｈ28年度事業報告とＨ29年度活動計画○くらし相談支援センターの相談状況について |
| 対策会議 | 15回 | 複合課題困難事例の支援策検討、財産等一時預かりの検討 |

◆市民公開講座・個別相談会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 市民公開講座第1回第2回第3回 | 日時 平成28年7月23日（土）13:30～15:30会場　松江市総合福祉センター　　　**参加者 60名**内容　**『知って得する！安心！法律問題 』～ 相続・遺言から成年後見まで ～**●**「転ばぬ先の杖 相続問題」****講師 法テラス島根法律事務所弁護士 松本信乃 氏**●**「「ご存じですか 遺言の書き方」****講師 法テラス島根法律事務所弁護士 三浦益隆 氏**個別相談会　15:30～17:00　島根県弁護士会弁護士・地域包括支援センター相談員による「なんでも相談会」　相談者9名日時 平成28年9月24日（土）13:30～15:30会場　松江市総合福祉センター　　　**参加者 80名**内容　**『最新 認知症の予防と治療の実際 』～ 認知症で悩まないために ～****講師 まつしま脳神経内科クリニック 院長 松嶋永治 氏****参加者 80名**個別相談会　15:30～17:00　地域包括支援センター相談員による「福祉相談会」相談者2名日時 平成29年1月28日（土）13:30～15:00会場　松江市総合福祉センター　　　**参加者 37名**内容　**『終活のススメ ～エンディングノートから相続・遺言まで～ 』****講師 さざんか行政書士事務所行政書士・終活カウンセラー 長谷川正樹 氏****参加者 37名**個別相談会　15:00～16:30 行政書士による「個別相談会」相談者5名 |

4-(3) 社協内相談事業連絡会議

【生活支援課】

　今年度より、相談ケースの情報共有と連携方法や支援についての検証を行うため、社協内各課の相談事業連絡会を開催しました。また、係長級以上の職員を対象とした、スーパーバイズ強化研修会を開催しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 回数 | 内　容 |
| 相談事業連絡会 | 9回 | 各課相談事業の情報共有と連携方法や支援についての検証 |
| スーパーバイズ強化研修 | 1回 | 班長以上の職員がスーパーバイズの力を高める事例検討会 |

4-(4) 各種貸付相談

【生活支援課】

本会では、島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金制度の受付相談と自主事業として、低所得世帯に対し生活に緊急的に必要な一定の資金を貸し付ける民生融金貸付事業を実施し、世帯の自立を図ることを目的として相談、貸付を行いました。

◆相談件数

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 相談件数 |
| H28年度 | **927件** |
| H27年度 | 977件 |
| H26年度 | 921件 |

◆月別相談件数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 件数 | 68 | 78 | 75 | 73 | 64 | 100 | 75 | 75 | 74 | 63 | 78 | 104 |

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な運営に努めました。

■福祉資金（生業、技能習得、住宅、福祉用具、障がい者自動車、療養、介護、災害援護

その他福祉費、緊急小口）

■教育支援資金

■不動産担保型生活資金

■総合支援資金

◆生活福祉資金貸付実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 貸付件数 | 貸付金額 |
| H28年度 | **65件** | **65,965,000円** |
| H27年度 | 53件 | 36,378,462円 |
| H26年度 | 48件 | 23,739,462円 |

　◆生活福祉資金 資金内訳（65件）

■住宅改修費（5件）■技能習得経費（7件） ■一時的必要経費（11件）■教育支援費（22件）

■療養費（1件）■障がい者自動車購入（6件）■緊急小口（10件）■総合支援資金（3件）

②民生融金の貸付

生活困窮者に対する緊急の小口融資生活資金として、民生児童委員の協力により1件5万円以内で貸付支援を行いました。

◆民生融金貸付実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 貸付件数 | 貸付金額 |
| H28年度 | **161件** | **2,648,200円** |
| H27年度 | 204件 | 3,468,000円 |
| H26年度 | 212件 | 3,831,000円 |

4-(5) 福祉サービス

　①福祉サービスの充実及び企画・実施

ア）移送サービスの実施

【地域福祉課】

本所と湖南事業所（宍道健康センター）の2ヵ所を拠点に市町村有償運送事業を松江市から受託し、移送サービス事業を実施しました。

高齢者や障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、市民相互の連帯と互助精神に基づく福祉のまちづくりを推進することを目的とし、医療機関等の通院を主として、福祉車輌を利用した送迎サービスを行いました。

◆移送（たんぽぽ）サービス事業の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 本所 | 湖南事業所 | 計 |
| 福祉車輌 | 2台 | 2台 | 4台 |
| 利用会員数 | 22人 | 16人 | 38人 |
| 登録運転協力員数 | 18人 | 0人 | 18人 |
| 専属運転士(社協職員) | 0人 | 3人 | 3人 |

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（本所）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 通院・入退院 | 185件 | 219件 | 278件 |
| 施設利用 | 1件 | 1件 | 2件 |
| 行事・会議等の参加 | 2件 | 1件 | 1件 |
| 行政機関等の訪問 | 6件 | 6件 | 5件 |
| 買い物 | 0件 | 0件 | 6件 |
| その他利用 | 0件 | 1件 | 1件 |
| 計 | **194件** | 228件 | 293件 |

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（湖南事業所）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 通院・入退院 | 127件 | 156件 | 193件 |
| その他利用 | 0件 | 1件 | 17件 |
| 計 | **127件** | 157件 | 210件 |

イ）住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

【地域福祉課】

高齢化の進行や社会の変化にともない様々な福祉ニーズに対応するため、在宅での生活の安定と福祉の増進を図ることを目的とし、松江市社協の自主事業として住民同士の助け合いを基本とした住民参加型のヘルプサービス事業を行いました。これは特に、介護保険サービスの補完的な位置付けをもっています。また協力会員同士の情報交換、資質向上のための研修会の実施及び県内の住民参加型の在宅福祉サービスを実施している団体と情報交換を図ることを目的として「しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク」に加入し幹事会、研修会へ参加しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 利用会員 | 142人 | 144人 | 167人 |
| 協力会員 | 58人 | 41人 | 44人 |

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1時間単位のサービス時間を設定）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 利用回数（家事） | 2,872回　 | 2,244回　 | 2,274回　 |
| 利用時間（家事） | 4,630時間 | 3,908時間 | 3,900時間 |
| 利用回数（介護） | 1,278回　 | 991回　 | 908回　 |
| 利用時間（介護） | 2,278時間 | 2,003時間 | 1,974時間 |
| 利用回数（認知） | 0回　 | 0回　 | 1回　 |
| 利用時間（認知） | 0時間 | 0時間 | 3時間 |
| 利用回数(計) | 4,150回 | 3,235回 | 3,183回 |
| 利用時間(計) | **6,908時間** | **5,911時間** | 5,877時間 |

◆協力会員研修会の実施及び参加

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク研修会 | ●日時　平成29年1月13日(金)会場　いきいきプラザ島根403研修室 内容　総会　実践報告　意見交換参加者数　2人 |

②介護職員初任者研修の実施

【総務課】

介護の分野で働きたいという方を対象に、介護等に必要な基礎知識・技術の習得を目的として講座を開催しました。この講座は島根県社会福祉協議会が実施する「介護の就職チャレンジ支援事業」の一環として実施し、修了者については、事業所での実地教育訓練を通して、就労支援が行われました。

◆介護職員初任者研修の実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | H28年度 | H27年度 | H26年度 |
| 修了者数 | **5人** | 19人 | 18人 |
| 開催回数 | **1回** | 1回 | 1回 |
| 内容(共通) | 開催時期　9月～11月講義　　　65時間実技講習　53時間実習　　　12時間　　計130時間 |

**５．公的福祉サービス受託事業の推進**

5-(1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

永年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 実施会場数 | 実施回数 | 参加者延人数 |
| H28年度 | 366ヶ所 | 3,140回 | 42,271人 |
| H27年度 | 370カ所 | 3,223回 | 42,802人 |
| H26年度 | 365ヶ所 | 3,248回 | 43,508人 |
| H25年度 | 353ヶ所 | 2,924回 | 40,918人 |

◆公民館区ごとの実施状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地区名 | 会場数 | 回数 | 地区名 | 会場数 | 回数 |
| 大庭 | 20 | 127 | 持田 | 12 | 93 |
| 古志原 | 12 | 73 | 本庄 | 13 | 73 |
| 忌部 | 17 | 79 | 朝酌 | 9 | 24 |
| 竹矢 | 11 | 68 | 古江 | 4 | 39 |
| 津田 | 11 | 86 | 秋鹿 | 12 | 55 |
| 乃木 | 14 | 143 | 大野 | 8 | 47 |
| 雑賀 | 8 | 94 | 鹿島 | 16 | 330 |
| 朝日 | 8 | 72 | 島根 | 19 | 158 |
| 白潟 | 9 | 70 | 美保関 | 24 | 225 |
| 城西 | 8 | 28 | 八雲 | 17 | 165 |
| 城東 | 3 | 21 | 玉湯 | 17 | 125 |
| 城北 | 4 | 93 | 宍道 | 22 | 185 |
| 法吉 | 10 | 67 | 八束 | 7 | 54 |
| 生馬 | 11 | 101 | 東出雲 | 28 | 286 |
| 川津 | 12 | 159 | 合計 | **366** | **3,140** |

ア）継続支援、立ち上げ支援

継続会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 立ち上げ相談・説明会 | 29地区（55回） |
| 立ち上げボランティア行事用保険 | 11会場　54件（約2,286人分） |
| 物品提供 | 12会場　103件 |

イ）「なごやか寄り合い事業」通信（事務局版）の発行

事業の現状、なごやか寄り合い事業、ボランティア研修会などの様子を記入した事務局を作成し、地区社協・実施会場・その他関係機関等に配布しました。

ウ）「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆ブロック研修会の開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| ブロック研修会橋南エリア橋北エリア | ●日時　平成28年9月26日（月）9:30～12:00会場　松江市総合福祉センター 内容　実践報告　 宍道地区　才地区福祉会、古志原地区　古志原6区　　情報交換 （グループワーク） 参加者　56人●日時　平成28年9月27日（火）9:30～12:00会場　松江市総合福祉センター内容　実践報告　野波あいあいクラブ、今宮春日いきいきサロン情報交換 （グループワーク）　参加者　60人 |

◆全体研修会の開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 全体研修会 | ●日時　平成29年3月7日（火）13:30～16:00会場　松江市総合福祉センター　4階　大ホール 内容　・松江市より情報提供（新総合事業とボランティアポイント制度）　・参加者　101人 |

5-(2)まつえ障がい者サポートステーション絆の運営事業

【生活支援課】

障がい(児)者相談員が障がい(児)者の生活上の問題の相談に応じ、情報提供・助言・その他障がい福祉サービスの利用支援を行うとともに、関係機関との連携を図り、障がい児(者)の地域生活に関わる相談を行いました。

その運営については、松江市との合同事務局として推進してまいりました。

◆相談実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 相談者実人数（者）／（児） | 相談延件数（者）／（児） |
| H28年度 | 243人／60人 | 660件／140件 |

○障がい者サポートステーション「絆」運営

事務局会議（事務局として松江市と社協で協議）　　　　　　　　　　　　計13回実施

○エスコ・ウイッシュ・絆との定例会（エスコ・ウイッシュとの連携についてサポート絆の事

務局との協議）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計5回実施

○ぷらす・絆との定例会（ぷらすとの連携についてサポート絆の事務局との協議）

計6回実施

○事業所連絡会（サポート絆の構成事業所との協議及び事例検討）　　　　　計12回実施

　○絆研修関係

・質的向上事例検討会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計11回実施

　　・サポートステーション絆研修　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計5回実施

　　・サポートステーション絆公開講座　　　　　　　　　　　　　　　　　　計5回実施

◆知的障がいをもつ働く青年たちの仲間づくりと、余暇活動の支援、それを支えるボランティア

の組織づくり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 年間実施　回数 | 参加者　延人数 | ボランティア延人数 |
| クッキングクラブ | 6回 | 68人 | 25人 |

　○コスモスの会（障がい者余暇支援団体）との連絡会　　　　　　　　　　　計12回実施

◆公民館を拠点とする障がい者の活動支援

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 年間実施　回数 | 参加者　延人数 | ボランティア延人数 |
| 湖北だんごの会 | 23回 | 109名 | 115名 |

5-(3) 生活困窮者自立相談支援事業（松江市くらし相談支援センター）

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。

◆松江市くらし相談支援センター相談件数

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 新規相談者実人数 |
| Ｈ28年度 | 374人 |
| Ｈ27年度 | 622人 |

◆月別相談件数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 件数 | 39 | 44 | 29 | 35 | 26 | 28 | 29 | 15 | 27 | 30 | 29 | 43 |

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 相談内容 | 人数 |  | 支援内容 | 人数 |
| 病気・健康 | 121人 | 制度利用 | 住宅確保給付金 | 4人 |
| 住まい | 135人 | 一時生活支援事業 | 18人 |
| 収入・生活費 | 215人 | 家計相談支援事業 | 12人 |
| 家賃やローン | 61人 | 就労準備支援事業 | 8人 |
| 税金・公共料金支払 | 51人 | 入居債務保証 | 32人 |
| 債務 | 70人 | 生活福祉資金 | 11人 |
| 仕事探し・就職 | 89人 | 民生融金 | 32人 |
| 仕事上の不安・トラブル | 17人 | フードバンク | 86人 |
| 地域との関係 | 19人 | 就労支援促進事業 | 8人 |
| 家族との関係 | 102人 | 他機関へ引継ぎ・同行 | ハローワーク同行・連絡調整 | 21人 |
| 子育てのこと | 21人 | 法テラス | 16人 |
| 介護のこと | 9人 | サポート絆 | 12人 |
| 引きこもり・不登校 | 1人 | 包括支援センター | 31人 |
| DV・虐待 | 8人 |  市窓口 | 57人 |
| 食べるものがない | 48人 |  |
| その他 | 67人 |

①自立相談支援事業 （松江市委託事業）

　　生活困窮者の就労その他の自立に関する相談支援で、自立支援計画（プラン作成）を作成し、

各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施等の業務を行いました。

②一時生活支援事業

緊急に衣食住の確保が必要な方に、緊急一時的な宿泊場所の調整や食糧支援等を行い、就労や住まい探しなどの相談支援を行いました。

③住居確保給付金

　　離職により住居を失い生活に困っている方、または住居を失うおそれの高い方に、一定期間　の松江市からの家賃支給申請を行い、安心して就職活動ができるように支援を行いました。

④家計相談支援事業（松江市委託事業）

家計の視点から必要な情報提供などを行うとともに、相談者自身が家計を管理できる力を高める支援や家計に関する課題を解決するための様々な機関につなぐなどの支援を行いました。

⑤就労準備支援事業（松江市委託事業）

就職活動や社会との関わりに不安がある方などを対象に就労に向けた個別の準備支援や就労準備講座の開催を行いました。

⑥入居債務保証制度

　　家賃等について継続的に支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために住居の確保ができない方を対象に社会福祉協議会が滞納家賃等を保証し、住まいの確保を支援しました。

⑦フードバンク事業

生活困窮者に対する緊急の食糧支援を行うとともに、自転車、炊飯器、ホットプレートの貸し出しや生活必需品（布団、洗剤、タオル、食器等）の支給支援を行いました。

◆フードバンク延利用者数　86人

⑧ひとり一品運動

ひとり一品運動は、家庭で眠っている食品を寄贈いただき、生活に困窮している方や福祉施設、団体に無償で提供するボランティア活動です。今年度もインスタント食品やレトルト食品、缶詰などの保存食品等多数のご寄付がありました。

◆実施期間　平成28年11月28日(月)～平成28年12月2日(金)

◆寄付者数（個人・団体）141人　品数　1,991個

⑨「助っ人弁護士制度」（法テラス島根との連携）

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や契約弁護士による法律相談、くらし相談支援センター職員との事例検討等を行い、司法と福祉の連携を図りました。

◆助っ人弁護士制度の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 方　法 | 件　数 |
| H28年度 | 面談での情報提供 | 156件 |
| ホットライン（電話での情報提供） | 53件 |
| ケース検討等 | 179件 |
| 法律相談につながったケース | 8件 |

**６．介護保険関係事業の推進**

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する４つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

6-(1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 職員数 |
| H28年度 | **2人** |
| H27年度 | 3人 |
| H26年度 | 3人 |

◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 要支援 | 要介護 | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H28年度 | **874** | **98** | **96** | **327** | **204** | **119** | **33** | **0** | **0** | **4,365** | **1,400** |
| H27年度 | 1,079 | 163 | 123 | 427 | 210 | 106 | 38 | 12 | 0 | 3,865 | 1,510 |
| H26年度 | 1,067 | 90 | 75 | 426 | 273 | 138 | 53 | 12 | 0 | 7,485 | 1,751 |

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)15名（正規1名、嘱託2名、パート12名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護体制》

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H28年度 | **2人** | **1人** | 12人 |
| H27年度 | 2人 | 1人 | 16人 |
| H26年度 | 4人 | 0人 | 16人 |

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績》　　　　　　　　　　 （人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H28年度 | **102** | **75** | **134** | **98** | **56** | **19** | **5** | **489** |
| H27年度 | 259 | 199 | 258 | 162 | 45 | 27 | 18 | 968 |
| H26年度 | 264 | 215 | 268 | 214 | 95 | 40 | 8 | 1,104 |

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆美保関居宅介護支援事業所体制

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 職員数 |
| H28年度 | **2人** |
| H27年度 | 2人 |
| H26年度 | 2人 |

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 要支援 | 要介護 | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |  |  |
| H28年度 | **949** | **58** | **72** | **343** | **269** | **114** | **81** | **22** | **2** | **3,583** | **1,423** |
| H27年度 | 947 | 79 | 101 | 419 | 183 | 95 | 70 | 0 | 0 | 2,799 | 1,368 |
| H26年度 | 806 | 54 | 52 | 343 | 173 | 94 | 24 | 66 | 2 | 2,686 | 1,259 |

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)10名（嘱託2名、パート8名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H28年度 | **2人** | **0人** | **7人** |
| H27年度 | 2人 | 1人 | 8人 |
| H26年度 | 1人 | 1人 | 6人 |

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績　　　　　　　　　 　　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H28年度 | **103** | **193** | **235** | **46** | **32** | **6** | **14** | **629** |
| H27年度 | 71 | 144 | 220 | 55 | 19 | 3 | 12 | 524 |
| H26年度 | 72 | 130 | 180 | 64 | 10 | 11 | 18 | 485 |

③通所介護事業及び介護予防通所介護事業

通所介護事業及び介護予防通所介護事業所を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び介護予防通所介護体制（兼務有）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 生活相談員 | 看護職員(機能訓練) | 介護職員 |
| H28年度 | **2人** | **3人** | **9人** |
| H27年度 | 2人 | 2人 | 8人 |
| H26年度 | 3人 | 2人 | 7人 |

◆美保関通所介護事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 年度末実利用者数 | 稼働日数 | 年間延利用者数 | 年間延入浴利用者数 | 年間延食事利用者数 | 一日平均利用者数 | 通所介護3h～5h(人) | 通所介護5h～7h(人) | 通所介護7h～9h(人) |
| H28年度 | **41** | **307** | **5,757** | **5,676** | **5,757** | **18.6** | **2** | **66** | **5,690** |
| H27年度 | 49 | 309 | 5,435 | 5,288 | 5,434 | 17.6 | 2 | 24 | 5,409 |
| H26年度 | 47 | 307 | 4,389 | 4,327 | 4,334 | 14.3 | 2 | 89 | 4,298 |

◆美保関介護予防通所介護事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 年度末実利用者数 | 稼働日数 | 年間延利用者数 | 年間延入浴利用者数 | 年間延食事利用者数 | 一日平均利用者数 | 介護予防通所介護1 | 介護予防通所介護2 |
| H28年度 | **11** | **307** | **449** | **376** | **449** | **1.5** | **174** | **275** |
| H27年度 | 8 | 309 | 450 | 372 | 450 | 1.5 | 158 | 292 |
| H26年度 | 6 | 307 | 434 | 346 | 434 | 1.4 | 151 | 283 |

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松南居宅介護支援事業所体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 職員数 | 常勤換算 |
| H28年度 | 3人 | 3.0人 |
| H27年度 | 3人 | 3.0人 |
| H26年度 | 3人 | 3.0人 |

\*常勤換算とは　「常勤の職員の人数」＋「（非常勤の職員の勤務時間）÷（常勤の職員が勤務すべき時間）」で算出

\*常勤とは　正職員、パート等雇用形態を問わず、フルタイムで働く者をいいます。

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 要支援 | 要介護 | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H28年度 | **1,273** | **84** | **179** | **546** | **245** | **135** | **55** | **29** | **0** | **6,925** | **2,823** |
| H27年度 | 1,248 | 122 | 137 | 518 | 282 | 133 | 19 | 37 | 1 | 6,447 | 2,780 |
| H26年度 | 1,160 | 176 | 108 | 440 | 257 | 84 | 51 | 45 | 1 | 6,279 | 3,122 |

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)8名（嘱託2名、パート6名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H28年度 | **1人** | **1人** | **6人** |
| H27年度 | 1人 | 1人 | 6人 |
| H26年度 | 2人 | 0人 | 7人 |

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績　　　　　　　　　　 　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H28年度 | **39** | **66** | **125** | **72** | **13** | **11** | **0** | **326** |
| H27年度 | 45 | 79 | 142 | 72 | 47 | 0 | 0 | 385 |
| H26年度 | 77 | 64 | 129 | 72 | 37 | 0 | 0 | 379 |

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆宍道居宅介護支援事業所体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 職員数 | 常勤換算 |
| **H28年度** | **3人** | **3.0人** |
| H27年度 | 3人 | 3.0人 |
| H26年度 | 3人 | 2.7人 |

\*常勤換算とは　「常勤の職員の人数」＋「（非常勤の職員の勤務時間）÷（常勤の職員が勤務すべき時間）」で算出

\*常勤とは　正職員、パート等雇用形態を問わず、フルタイムで働く者をいいます。

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 要支援 | 要介護 | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H28年度 | **1,148** | **125** | **99** | **443** | **209** | **158** | **94** | **20** | **0** | **2,513** | **1,719** |
| H27年度 | 1,176 | 94 | 110 | 367 | 258 | 201 | 98 | 48 | 0 | 2,567 | 2,136 |
| H26年度 | 1,104 | 89 | 93 | 359 | 200 | 175 | 137 | 47 | 4 | 2,303 | 1,691 |

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)14名（嘱託1名、常勤1名、パート12名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H28年度 | **1人** | **1人** | **11人** |
| H27年度 | 1人 | 1人 | 12人 |
| H26年度 | 2人 | 1人 | 11人 |

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績　　　　　　　　　　　 　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H28年度 | **43** | **59** | **109** | **105** | **36** | **6** | **28** | **386** |
| H27年度 | 58 | 58 | 148 | 96 | 45 | 11 | 27 | 443 |
| H26年度 | 73 | 67 | 173 | 61 | 48 | 19 | 21 | 462 |

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 専門Ⅰ | 専門Ⅱ | 主任 | 主任　　更新 | 更新 | 計 |
| H28年度 | **5** | **6** | **4** | **3** | **3** | **21** |
| H27年度 | 3 | 6 | 5 | 0 | 4 | 18 |
| H26年度 | 1 | 10 | 1 | 0 | 0 | 12 |

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るためグループに分け内部の社協内訪問介護事業所の全体研修を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 訪問介護員内部研修【第1回】内部研修【第2回】 | ●日時　 平成28年6月16日（木）会場　 松江市総合福祉センター　4階　教養室内容　「接遇マナーについて」講師　 島根県介護福祉士会会長　山本克哉　氏参加　　27名●日時 　 平成28年11月18日（金）会場　 松江市総合福祉センター　3階　和室内容　「介護実践について　～オムツのあて方～」講師　 株式会社こころ　代表取締役　矢野ゆかり　氏参加　　28名 |

③居宅介護支援専門員内部研修

　社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため全体研修を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 居宅介護支援専門員内部研修【第1回】 | ●日時　平成28年7月12日（火）会場　松江市総合福祉センター　1階　会議室内容　・伝達研修　　　・総合事業について 参加人数　介護支援専門員　10人 |
| 居宅介護支援専門員内部研修【第2回】 | ●日時　平成29年2月14日（火）会場　松江市総合福祉センター　2階　視聴覚室内容　・学習会　難聴について　　　　講師　　中国補聴器センター松江店　山根康嗣　氏参加人数　介護支援専門員　10人 |

④その他介護職員関係研修への参加

介護職員は、サービスの質や技術の向上のため、多くの研修を受けることが求められており、下記の研修に参加しました。

・障がい者ホームヘルパーフォローアップ研修　・同行援護従業者養成研修

・訪問介護サービス提供責任者研修　・介護技術研修会

・認知症介護実践研修　・松江市ケアマネジャー研修　・クレーム対応研修

　　・松江地域介護サービス事業所連絡会研修　・介護支援専門員協会研修会

　　・包括支援センター公開講座

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【地域包括ケア推進課】

○介護保険法に基づく要介護認定のための継続申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆介護認定訪問調査事業体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 正規 | 嘱託 | パート |
| **H28年度** | **3人** | **11人** | **5人** |
| H27年度 | 4人 | 11人 | 3人 |
| H26年度 | 4人 | 11人 | 2人 |

◆調査件数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（件）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 在宅 | 施設 | 合計 |
| **H28年度** | **5,331** | **3,381** | **8,712** |
| H27年度 | 5,294 | 3,186 | 8,480 |
| H26年度 | 5,129 | 3,064 | 8,193 |

○新規調査を担当する松江市の認定調査員と、松江市の受託により変更・更新調査を担当する松江市社会福祉協議会の認定調査員が合同で研修することにより、調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 【第1回】【第2回】 | ●日時　平成28年7月25日（月）内容　「認定調査とは」講師　奥住　浩代　氏参加者数　18人●日時　平成29年3月15日（水）内容　調査にあたっての関連制度について　　　認定適正化研修会の報告　　　新規調査実施上の留意点参加人数　17人 |

そのほか、調査資料がどのように審議されているのかを知り適正な調査の作成に役立てるた

め介護認定審査会の見学や社協内での内部研修を行いました。。

○松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 件数 |
| H28年度 | **22** |
| H27年度 | 36 |
| H26年度 | 46 |

**７．障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進**

　障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する4つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

　また、3つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し1つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 11人 |
| ヘルパー従事者数 | 12人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **1,428回** | **11人** | **12人** | **1,385時間30分** | **58分** |
| H27年度 | 1,868回 | 12人 | 13人 | 1,894時間55分 | 1時間00分 |
| H26年度 | 2,338回 | 19人 | 14人 | 2,825時間30分 | 1時間12分 |

イ）障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 5人 |
| ヘルパー従事者数 | 13人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **22回** | **5人** | **13人** | **76時間30分** | **3時間29分** |
| H27年度 | 26回 | 2人 | 13人 | 92時間30分 | 3時間33分 |
| H26年度 | 85回 | 2人 | 17人 | 141時間00分 | 1時間39分 |

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 13人 |
| ヘルパー従事者数 | 9人 |

◆契約実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **601回** | **13人** | **9人** | **691時間30分** | **１時間09分** |
| H27年度 | 634回 | 10人 | 9人 | 665時間30分 | １時間02分 |
| H26年度 | 578回 | 12人 | 9人 | 558時間00分 | 58分 |

イ）障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 2人 |
| ヘルパー従事者数 | 9人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **42回** | **2人** | **9人** | **72時間00分** | **１時間42分** |
| H27年度 | 48回 | 1人 | 9人 | 64時間30分 | １時間20分 |
| H26年度 | 96回 | 2人 | 9人 | 96時間00分 | 1時間00分 |

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 6人 |
| ヘルパー従事者数 | 7人 |

◆契約実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **539回** | **6人** | **7人** | **497時間25分** | **55分** |
| H27年度 | 605回 | 7人 | 6人 | 537時間30分 | 53分 |
| H26年度 | 804回 | 9人 | 8人 | 731時間30分 | 54分 |

イ）障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 2人 |
| ヘルパー従事者数 | 7人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **52回** | **2人** | **8人** | **66時間30分** | **1時間17分** |
| H27年度 | 89回 | 2人 | 8人 | 119時間09分 | 1時間22分 |
| H26年度 | 35回 | 2人 | 11人 | 67時間00分 | 1時間54分 |

④宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 8人 |
| ヘルパー従事者数 | 13人 |

◆契約実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働ヘルパー数 | サービス提供時間 | 平均利用時間 |
| H28年度 | **1,034回** | **8人** | **13人** | **1,035時間30分** | **60分** |
| H27年度 | 1,348回 | 10人 | 13人 | 1,266時間15分 | 56分 |
| H26年度 | 969回 | 9人 | 13人 | 1,214時間25分 | 1時間15分 |

＊同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定及び松江市地域生活支援事業の事業所指定を受けていない。

**８．児童福祉サービスの推進**

8-(1) 児童センター等の受託運営

【松南事業所】

①八雲児童センター運営事業

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆利用実績　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　延べ人数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 0～6歳 | 小学生 | 中高生 | 大人 | 合計 |
| H28年度 | 　1,316人 | 　1,655人 | 13人 | 　3,373人 | 　　6,357人 |
| H27年度 | 　1,558人 | 　1,995人 | 10人 | 　2,755人 | 　　6,318人 |
| H26年度 | 1,826人 | 3,261人 | 21人 | 3,108人 | 8,216人 |

他の施設等との連携で年間をとおして多様な事業を行いました。

　▼毎月1回　　　絵本とあそうぼう会、ファミリーサークル、

わいわいサロン（市民生活課との共催）、布のおもちゃ作り

　　▼年1回～2回　どんぐり館まつり、表現ワークショップ、ヨガ体験、音楽コンサート、

お月見会、陶芸体験、食育講座、リフレッシュ体操、人形劇鑑賞、幼児

救急法等

②八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 子育てサロン「星キラくらぶ」 | ●回数　50回会場　児童センター、秋桑すこやか会館、八雲公民館　　　 やくものお家参加者数　660人(親子)　 |

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親が増えたり、幼稚園児の減少も影響したため、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 子育てサロン「星キラママ」 | ●回数　17回会場　児童センター内容　陶芸、ヨガ体験等参加者数　249人（地域の高齢者の方々を含む） |

8-(2) 子ども食堂の取り組み

【生活支援課】

経済的な問題や孤食の問題の解消だけでなく、家族以外の地域の人との交流や「食事の場面」を通じて子どもの人格形成に必要な知識や体験を学ぶ場、気軽に安心して立ち寄れる居場所の地域展開を検討するため、試行的に「まつえこども食堂さいか店」を開催し、『はじめてみよう!こども食堂』（マニュアル）と『ひろがれ!こども食堂』（リーフレット）を作成しました。

平成29年度からは、地域での「こども食堂」立ち上げ支援や活動支援を行っていきます。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| まつえこども食堂さいか店 | 日時　平成28年7月26日（火）、8月3日（水）、10日（水）、17日（水）、24日（水）10:00～15:00平成28年10月18日（火）、11月15日（火）、12月20日（火）、平成29年1月17日（火）、2月21日（火）、3月21日（火）16:00～20:00会場　新町 洞光寺会館参加者(延べ) 子ども 94人、保護者 26人、ボランティア 60人 |
| ボランティア連絡会 | 日時 平成29年2月21日（火）15:00～16:00　会場 新町 洞光寺会館参加者 ボランティア 8人 |
| マニュアル、リーフレット作成 | 『はじめてみよう!こども食堂』（マニュアル）、『ひろがれ!こども食堂』（リーフレット）の作成 |

**９．福祉施設等管理運営事業の受託**

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点、また浴室等の憩いの場として多数の利用がありました。しかし、温泉施設ボイラー故障による復旧の見込みがたたず温泉営業を１０月より休業した為、施設利用者が減員しました。

昭和60年営業開始

◆開館実績：平成28年度360日9:00～21:00（日曜9:00～17:00、祝日9:00～18:00)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 施設利用人員 | 浴室利用人員 |
| H28年度 | 56,816人 | 19,576人 |
| H27年度 | 60,906人 | 37,326人 |
| H26年度 | 59,381人 | 40,397人 |

　\*入浴料は　一般200円　高齢者(65歳)、障がい者、小学生100円　未就学児無料

　\*入浴は　日曜日、年末年始は休業

　\*賃貸料は　午前、午後、夜間、全日の区分により利用者の条件により料金はそれぞれ

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課:湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すぱーく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として多数の利用がありました。

◆利用実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 利用件数 | 時間数 | 利用人員（延べ） |
| H28年度 | **206件**  | **889時間**  | **3,483人**  |
| H27年度 | 209件  | 1,020時間  | 3,316人  |
| H26年度 | 230件  | 1,071時間  | 4,003人  |

9-(3) 東出雲老人福祉センター管理運営事業

【東出雲支所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、老人福祉活動の拠点として、また浴室等の憩いの場として利用がありました。

◆老人福祉センター利用実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 施設利用人員 | 浴室利用人員 |
|  H28年度 | **7,493人** | **3,439人** |
| H27年度 | 8,351人 | 4,064人 |
| H26年度 | 8,969人 | 4,986人 |

9-(4) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【松東事業所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、世代間交流など町民の福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 年間回数 | 備　考 |
| せんだんカフェ開催 | 8回 | 地元ボランティア活動 |
| 美保関地区高齢者クラブ会議 | 3回 |  |
| 美保関中学校２年生福祉体験学習 | １回 | 6/28～6/29 |
| 美保関中学校３年生福祉体験学習 | 1回 | 8/9～8/10　8/12 |
| 敬老会ボランティア受け入れ | 1回 | 9/14～9/16 |

9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業

【松東事業所】

西ふれあいプラザを会場に健康からだ元気塾の開催、ボランティア団体による福祉交流の場としてカフェを開催するなど、地域の皆様の交流の場、福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 調理室利用者数 | 和室利用者数 | 集会室利用者数 | 合計 |
| H28年度 | 69人 | 0人 | 797人 | 866人 |
| H27年度 | 70人 | 0人 | 615人 | 685人 |
| H26年度 | 63人 | 0人 | 547人 | 610人 |

**10．災害支援**

10-(1) 熊本地震災害支援派遣

【総務課】

[2016年](http://dic.nicovideo.jp/a/2016%E5%B9%B4)（[平成28年](http://dic.nicovideo.jp/a/%E5%B9%B3%E6%88%9028%E5%B9%B4)）[4月14日](http://dic.nicovideo.jp/a/4%E6%9C%8814%E6%97%A5)より[熊本県](http://dic.nicovideo.jp/a/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E7%9C%8C)[熊本](http://dic.nicovideo.jp/a/%E7%86%8A%E6%9C%AC)地方を震[源](http://dic.nicovideo.jp/a/%E6%BA%90)として発生し震度7を記録した「平成28年熊本地震」に対して、松江市社協は単独で熊本市社協及び熊本市ボランティアセンターに対して職員派遣を実施した。

◆熊本市社協への派遣内容

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 派遣班 | 期間 | 人員 | 活動内容 | 派遣職員 |
| 先遣隊 | 4/27(水)　～　4/30(土) | 4 | 受入れ体制・支援調整 | \*諏訪・安藤・青山・木佐 |
| 1班 |  5/3(火)　～　 5/8(日) | 3 | 熊本市社協ニーズ調整 |  \*中島・三上・今村  |
| 2班 |  5/7(土)　～　5/12(木) | 3 | 熊本市社協ニーズ調整 |  \*雨川・角・小須賀 |
| 3班 | 5/11(水)　～　5/16(月) | 3 | 熊本市社協ニーズ調整 |  \*星野・野津博・山野 |
| 4班 | 5/15(日)　～　5/20(金) | 2 | 熊本市社協ニーズ調整 |  \*錦織・宮廻 |
| 5班 | 5/19(木)　～　5/24(火) | 2 | 熊本市社協ニーズ調整 |  \*清原・奥原 |
| 6班 | 5/23(月)　～　5/28(土) | 2 | 熊本市社協ニーズ調整 |  \*池田・山本修 |
| 撤収隊 | 6/2(木) ～ 6/3(金) | 2 |  撤収及び挨拶 |  \*豊島・安藤 |

・合計8班21名を32日間に渡って行った。

○支援内容等

①初日松江市を5:00頃出発　→　松江道～中国道～九州道　→　熊本市14:00頃到着

　　到着後先発組と引き継ぎ

2日目から5日目まで熊本市社協で業務　終了後後発組と引き継ぎ

6日目　熊本市を8:00頃出発　→　九州道～中国道～松江道　→　松江市16:00頃到着

5泊6日(2日間は移動日)

②被災者からのニーズ受付及び仕訳作業　・問い合わせの電話への対応　・高速道路証明書の受付・小口貸付の対応　・その他雑用

　　\*直接的な被災者支援には携わらない。(避難所、被災者宅、災害ボランティアセンターなど)

③費用については全額社協自主財源とする

　　1班当たり10万円×6班+先遣・撤収10万円　　　　計70万程度の支出を見込む

④宿泊は、熊本市社協2階調理実習室。食事は松江市社協で考える。入浴は近くの24時間営業の入浴施設へ行く(アウトドア用折りたたみベッド、毛布、寝袋)。現地ホテルの営業開始から可能なら市内のホテルを利用

**平成29年4月１日付け正規職員採用の方針について**

**１.概　　要**

**（1）採用予定数**　4名程度

**（2）資格要件**

・学　歴　　問わない

・年　齢　　昭和52年4月2日以降に生まれた者

・資　格　　次の各号のいずれかに該当する者

①保健師免許を有する者

(平成29年3月31日までに免許取得見込みの者を含む)

②社会福祉士資格を有する者

(平成29年3月31日までに資格取得見込みの者を含む）

③介護支援専門員の資格を有する者

・その他　　上記の資格のない者で次の各号のいずれかに該当する者

　　　　　　 ①上記の資格は有していないが、福祉に対する強い情熱がある者

　　　　　　 ②福祉の勤務経験はないが、福祉に対する熱き心がある者

　　　　　　　(①及び②については、採用後10年以内には何らかの福祉資格を取得)

**（3）試験内容**

①１次試験（教養試験、面接）

日　時：平成28年12月3日(土)12:00～17:00及び4日(日)9:00～17:00

会　場：松江市総合福祉センター4F教養室及び1F会議室

※試験問題作成及び採点は（財）日本人事試験研究センターに委託

　　　ア.教養試験

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試　験　名 | 出題範囲 | 出題数 | 時間 | 費用 |
| 教養試験 | 社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能 | 30題 | 90分 | 1,200円 |

　　　イ.面接試験

 １次試験(管理職面接)

・集団面接　1グループ(6人～7人程度)　15分～20分程度

・個別面接 一人　10分～15分程度

※面接審査員　　目次局長、諏訪課長、豊島課長、安藤課長

　　　　　※試験日の翌日に、上記審査員による判定会議を行う

　　　　　※１次試験において10名程度に絞り込み、２次試験へ進む

　　　　　※１次試験多数の場合は集団面接のみとする

②２次試験（役員面接）

日　時：平成28年12月18日(日)を予定

会　場：松江市総合福祉センター1F会議室

・役員面接試験　1人　15分程度

　　※面接審査員　石原副会長、葉山副会長、長岡副会長、西村専務、井田理事(市部長)

　　※試験日の概ね２日以内に、上記審査員による判定会議を行い、採用者を決定する。

松江市社会福祉協議会　職員数

平成29年3月31日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所属 | 正規 | 継続雇用 | 嘱託 | 臨時 | パート | 計 |
| 職員 | 職員 | 職員 | 職員 | 職員 |
| 専務理事 | １ |  |  |  |  | １ |
| 事務局長（地域福祉課長兼務） | １ |  |  |  |  | １ |
| 総務課　　 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 総務係 | ４ |  | ２ |  | 4 | １０ |
| 経営企画係 | １ | １ | ２ |  | １ | ５ |
| 松北事業所（松江社協介護センター）駐在含 | ２ |  | ４ |  | ８ | １４ |
| 松東事業所（美保関介護センター）駐在含 | ３ |  | ９ | ９ | ９ | ３０ |
| 松南事業所（松南介護センター） |  |  | ６ |  | ６ | １２ |
| 湖南事業所（宍道介護センター） |  |  | ７ | 1 | １４ | ２２ |
| 八雲児童センター駐在含 | １ |  | ２ |  | ２ | ５ |
| 地域福祉課　　 | 課長（事務局長兼務） |  |  |  |  |  |  |
| 地域福祉係 | ７ |  |  |  |  | ７ |
| ボランティアセンター | １ |  | ４ |  |  | ５ |
| 生活支援コーディネーター | ２ |  |  |  |  | ２ |
| 生活支援課　 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 地域生活支援係 | ５ |  | ７ |  |  | １２ |
| くらし相談支援センター | ２ |  | ５ |  |  | ７ |
| 地域包括ケア推進課 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 地域包括ケア推進係 | １ |  | １ |  |  | ２ |
| 介護認定調査 | ３ |  | １０ | １ | ７ | ２１ |
| 地域包括支援センター | ２６ |  | ２１ |  |  | ４７ |
| 東出雲支所 |  |  | ３ | １ |  | ４ |
| 計 | ６３ | １ | ８３ | １２ | ５１ | ２１０ |

※正規職員数には市からの派遣職員を含む。